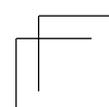
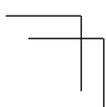


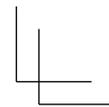
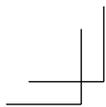
日本大学大学院 新聞学研究科



科目名索引

この大学院シラバスは、専攻の順に、今年度開講されている授業科目が掲載されている。

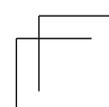
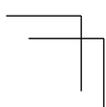
ウ	
ウェブ・ジャーナリズム論特殊講義	559
エ	
映像ジャーナリズム論特殊講義	563
ケ	
研究指導	567
コ	
合同演習	571
国際コミュニケーション論特殊講義	579
シ	
ジャーナリズム史特殊演習（思想）	583
ジャーナリズム史特殊研究（思想）	587
ジャーナリズム制度特殊演習（システム）	591
ジャーナリズム制度特殊研究（システム）	595
ジャーナリズム調査演習Ⅰ	599
ジャーナリズム調査演習Ⅲ	601
ジャーナリズム理論特殊演習（規範）	603
ジャーナリズム理論特殊研究（規範）	607
セ	
政治コミュニケーション論特殊講義	611
政治ジャーナリズム論特殊講義	615
専門演習（研究指導）	619
ヒ	
比較コミュニケーション政策論特殊講義	627
フ	
文献研究（英）	631
文献研究（中）	635
文献研究（独）	639
文献研究（日）	643
文献研究（仏）	651
メ	
メディア社会論特殊講義	655
メディア調査演習Ⅰ	659
メディア調査演習Ⅲ	661
メディア法制特殊講義	663
メディア倫理特殊講義	667



新聞学専攻

新聞学研究科

新聞学専攻



科目名	ウェブ・ジャーナリズム論特殊講義	担当者	水野 泰志	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ネット社会の進展に伴い、メディア環境が激変する中、ネットメディアを活用したジャーナリズムについて、さまざまな角度から実証的な研究を行う。内外の最新の事例にもとづき、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど既存メディアにおけるジャーナリズムとの比較を通じ、ウェブジャーナリズムの本質、信頼性、影響力、功罪、可能性、課題などを学修する。			
授業目的・到達目標	ネット時代のジャーナリズムについて、高度情報化された民主的社会の知見を深めるために、専門的な知識を蓄え、実践する能力を身につけることを目的とする。 急速に変容・深化するウェブジャーナリズムについて、さまざまな視点から基礎的知識を修得するとともに、ネット社会のあるべき姿を自らの言葉で表現できるようになることを目標とする。 関連するDP・CP1, 3			
履修条件	とくになし。			
授業方法	ウェブジャーナリズムの動向について、さまざまな事例を題材にした講義を中心に行う。受講者それぞれが興味を持つテーマを設定して研究を進め、論文（レポート）を作成し、その報告（プレゼン）をもとに、受講者全員で討議する。その都度、講評や解説を行う。また、必要に応じて学外研修を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	講義への取り組み、討議の内容、受講者ごとに設定した研究テーマにおける成果などにより、到達目標にかかわる知見を修得できたかについて総合評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	必要に応じて提示する。 新聞、テレビ、ネットなど、さまざまなニュースメディアを常に意識する。			
オフィスアワー	火曜日18:00～19:00（事前にメールでアポイントメントをとること） 図書館L401 メールアドレス：aei03021@nifty.com			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを確認し、ウェブジャーナリズム論の講座への取り組みについて考える。（120分）
	授業内容	ガイダンスとして、授業のテーマ、内容、スケジュール、成績評価の方法などについて説明する。それにより、受講者は、授業計画を知り、授業の準備をスムーズに行うことができる。
	事後学習	ウェブジャーナリズム論の講座への取り組みについて整理する。（120分）
2	事前学習	ジャーナリズムとメディアについて、自らの知見をまとめる。（120分）
	授業内容	ジャーナリズムとメディアについて学修する。
	事後学習	ジャーナリズムとメディアについて整理する。（120分）
3	事前学習	ウェブジャーナリズムについて、自らの知見をまとめる。（120分）
	授業内容	ウェブジャーナリズムの概要について学修する。
	事後学習	ウェブジャーナリズムについて整理する。（120分）

4	事前学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関する研究テーマを絞り込む。(120分)
	授業内容	ウェブジャーナリズムに関する研究テーマの事例について学修する。
	事後学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関するテーマを整理する。(120分)
5	事前学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関するテーマを決定する。(120分)
	授業内容	個々の受講生がウェブジャーナリズムに関する個々の研究テーマを設定する。
	事後学習	次回以降、受講者はそれぞれ決定した研究テーマについて、順次プレゼン(報告)できるよう、準備にとりかかる。(120分)
6	事前学習	情報革命について自らの知見をまとめる。(以下の項は各回同じ)プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート(中間報告等)を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。(120分)
	授業内容	情報革命とジャーナリズムについて学修する。(以下の項は各回同じ)該当のプレゼン担当者が論文(レポート)のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	情報革命について整理する。(以下の項は各回同じ)講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート(中間報告等)や討議を受け、知見を深める。(120分)
7	事前学習	ネットメディアの特性について自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	ネットメディアの特性について学修する。(同)
	事後学習	ネットメディアの特性について整理する。(同)(120分)
8	事前学習	マスメディアとマイメディアについて自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	マスメディアとマイメディアについて学修する。(同)
	事後学習	マスメディアとマイメディアについて整理する。(同)(120分)
9	事前学習	ネットメディアが社会にもたらすプラス面とマイナス面について自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	ネットメディアが社会にもたらすプラス面とマイナス面について学修する。(同)
	事後学習	ネットメディアが社会にもたらすプラス面とマイナス面について整理する。(同)(120分)
10	事前学習	ソーシャルメディア(X=ツイッター、フェイスブック、LINE、微博、微信など)の深化について自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	ソーシャルメディア(X=ツイッター、フェイスブック、LINE、微博、微信など)の深化について学修する。(同)
	事後学習	ソーシャルメディア(X=ツイッター、フェイスブック、LINE、微博、微信など)の深化について整理する。(同)(120分)
11	事前学習	巨大プラットフォームについて自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	巨大プラットフォームについて学修する。(同)
	事後学習	巨大プラットフォームについて整理する。(同)(120分)
12	事前学習	巨大プラットフォームとネットニュースについて自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	巨大プラットフォームとネットニュースについて学修する。(同)
	事後学習	巨大プラットフォームとネットニュースについて整理する。
13	事前学習	米国や欧州のウェブジャーナリズム事情について自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	米国や欧州のウェブジャーナリズム事情について学修する。(同)
	事後学習	米国や欧州のウェブジャーナリズム事情について整理する。(同)(120分)
14	事前学習	日本やアジアのウェブジャーナリズム事情について自らの知見をまとめる。(同)(120分)
	授業内容	日本やアジアのウェブジャーナリズム事情について学修する。(同)
	事後学習	日本やアジアのウェブジャーナリズム事情について整理する。(同)(120分)
15	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、前期のまとめの論文(レポート)を作成する。(120分)
	授業内容	受講者全員が前期のまとめの論文(レポート)のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	受講者のさまざまな研究テーマについて知見を深め、後期に向けて自らの研究テーマの課題や進め方について整理する。(120分)

16	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、前期のまとめを踏まえ、後期の進め方について検討する。(120分)
	授業内容	個々の受講生が、ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、後期の進め方について再構築する。
	事後学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、後期の進め方を確定する。(120分)
17	事前学習	ネットリスクについて自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	ネットリスクについて学修する。(同)
	事後学習	ネットリスクについて整理する。(同) (120分)
18	事前学習	フェイクニュースについて自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	フェイクニュースについて学修する。(同)
	事後学習	フェイクニュースについて整理する。(同) (120分)
19	事前学習	フェイクニュース対策について自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	フェイクニュース対策について学修する。(同)
	事後学習	フェイクニュース対策について整理する。(同) (120分)
20	事前学習	ネット上の誹謗中傷について自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	ネット上の誹謗中傷について学修する。(同)
	事後学習	ネット上の誹謗中傷について整理する。(同) (120分)
21	事前学習	ネット上の誹謗中傷の対策について自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	ネット上の誹謗中傷の対策について学修する。(同)
	事後学習	ネット上の誹謗中傷の対策について整理する。(同) (120分)
22	事前学習	Web 3. 0について自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	Web 3. 0について学修する。(同)
	事後学習	Web 3. 0について整理する。(同) (120分)
23	事前学習	メタバースについて自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	メタバースについて学修する。(同)
	事後学習	メタバースについて整理する。(同) (120分)
24	事前学習	生成AIについて自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	生成AIについて学修する。(同)
	事後学習	生成AIについて整理する。(同) (120分)
25	事前学習	生成AIのリスクについて自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	生成AIのリスクについて学修する。(同)
	事後学習	生成AIのリスクについて整理する。(同) (120分)
26	事前学習	生成AIとネットニュースについて自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	生成AIとネットニュースについて学修する。(同)
	事後学習	生成AIとネットニュースについて整理する。(同) (120分)
27	事前学習	ウェブジャーナリズムの伝播力や影響力について自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	ウェブジャーナリズムの伝播力や影響力について学修する。(同)
	事後学習	ウェブジャーナリズムの伝播力や影響力について整理する。(同) (120分)

28	事前学習	ウェブジャーナリズムの可能性と限界について自らの知見をまとめる。(同) (120分)
	授業内容	ウェブジャーナリズムの可能性と限界について学修する。(同)
	事後学習	ウェブジャーナリズムの可能性と限界について整理する。(同) (120分)
29	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、まとめの論文(レポート)を準備する。(120分)
	授業内容	受講者それぞれの論文(レポート)について、最終報告(まとめ)を調整する。
	事後学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、まとめの論文(レポート)を整理する。(120分)
30	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、最終論文(レポート)を作成する。(120分)
	授業内容	受講生全員が論文(レポート)の最終報告についてプレゼンし、受講者全員で討議する。
	事後学習	受講者それぞれの論文(最終報告)や討議を受け、ウェブジャーナリズムについて、知見をより深める。(120分)

科目名	映像ジャーナリズム論特殊講義	担当者	米倉 律	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	テレビを中心とした映像ジャーナリズムは現代社会において、政治、経済、文化など様々な領域において大きな影響力を持っている。本授業ではドキュメンタリーを中心として関連の文献を読み進めるとともに、放送番組の内容分析を実践的に行いながら、映像ジャーナリズムの機能・役割について多角的に理解することを目指す。特にテーマとしては、ジェンダー、格差・貧困、戦争・歴史認識問題を扱う予定である。			
授業目的・到達目標	放送番組の内容分析についての基本的な方法論を習得し、実際に幾つかの番組テキストを特定の問題意識に基づいて分析してその内容の特徴や傾向について明らかにできるようになること。関連するDP・CP1, 3			
履修条件	ドキュメンタリー番組、報道番組などについて関心を持ち、視聴できる環境にあること			
授業方法	文献講読と、番組の映像素材を用いた分析、発表、ディスカッションを組み合わせる。評価の対象とする発表については、授業内で随時講評を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	数回の発表と日常の発言などで総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	テーマに関連する文献を、適宜指示する。			
オフィスアワー	水曜日昼休み。研究室は本館1719号室。メールで事前にアポイントを取って欲しい。 メールアドレス：yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	入手した参考書などを用いて準備する。(2時間)
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配布資料を用いて振り返り(2時間)
2	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	メディアとジェンダー～先行研究①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
3	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	メディアとジェンダー～先行研究②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容に沿って振り返り。(2時間)

4	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	メディアとジェンダー～先行研究③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
5	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	メディアとジェンダー～番組視聴①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
6	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	メディアとジェンダー～番組視聴②
	事後学習	関連の書籍を読んでおく(2時間)
7	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	メディアとジェンダー～番組視聴③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
8	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	格差と貧困～先行研究①
	事後学習	関連の書籍を読んでおく(2時間)
9	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	格差と貧困～先行研究②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
10	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	格差と貧困～先行研究③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
11	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	番組分析①
	事後学習	配布資料を用いて振り返り(2時間)
12	事前学習	従軍慰安婦問題に関連する資料を収集、分析する。(2時間)
	授業内容	番組分析②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
13	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	番組分析③
	事後学習	関連の書籍を読んでおく(2時間)
14	事前学習	従軍慰安婦問題に関連する資料を収集、分析する。(2時間)
	授業内容	分析結果の報告
	事後学習	配布資料を用いて振り返り(2時間)
15	事前学習	前期の授業内容についてノートその他でまとめる。
	授業内容	分析結果の報告
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)

16	事前学習	日中戦争について関連する資料を収集、分析する。(2時間)
	授業内容	戦争・歴史認識問題～先行研究①
	事後学習	配布資料を用いて振り返り
17	事前学習	日中戦争について関連する資料を収集、分析する。(2時間)
	授業内容	戦争・歴史認識問題～先行研究②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
18	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	戦争・歴史認識問題～先行研究③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
19	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	事例研究①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
20	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	事例研究①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
21	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	戦争・歴史認識問題～先行研究③
	事後学習	配布資料を用いて振り返り(2時間)
22	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	戦争・歴史認識問題～先行研究④
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
23	事前学習	南京事件について基本的情報を調べておく。(2時間)
	授業内容	事例研究：南京事件①
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。(2時間)
24	事前学習	南京事件について関連情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	事例研究：南京事件②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
25	事前学習	南京事件について関連情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	事例研究：南京事件③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
26	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	戦争・歴史認識問題～先行研究⑤
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。(2時間)
27	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	戦争・歴史認識問題～先行研究⑥
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)

28	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。(2時間)
	授業内容	事例研究：原爆関連①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する(2時間)
29	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。(2時間)
	授業内容	事例研究：原爆関連②
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。(2時間)
30	事前学習	一年間の授業の内容についてノート、資料等を用いて振り返り(2時間)
	授業内容	年間総括
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめる。(2時間)

科目名	研究指導	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	博士學位論文作成のため、アプローチ、テーマ設定、先行研究のレビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を指導する。その際、テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を指導する。			
授業目的・到達目標	論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行う。その結果として、博士論文を完成すること。			
履修条件	社会学、文化理論、メディア理論の基礎知識を修得済みの者。			
授業方法	講義と演習を併用した形式で行う。履修者の学問関心を優先し、当該関心を社会科学における論文とする方途を指示する。科学性と論理性を常に問う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平生の発表内容と最終論文の成果内容	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	とくにない。		
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜日6限を基本とするが、メールにて確認を。kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	研究テーマを明確にしておく。(120分以上)
	授業内容	ガイダンス。年度ごとの年間スケジュール、最終目標などの確認。今年度の計画。
	事後学習	年間スケジュールのなかで、研究の進行過程を位置づける。(120分以上)
2~10	事前学習	研究テーマ、問題意識、方法を確認する。(120分以上)
	授業内容	研究の目的の設定 方法論の検討 先行研究の検討
	事後学習	研究テーマに即して方法論の検討、先行研究の探索をおこなう。(120分以上)
11~20	事前学習	問題意識を明確にしておく。(120分以上)
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 研究テーマの決定 論文概要の中間報告
	事後学習	中間報告での問題点、不足点などを確認し、修正や深化へむけて展開する。(120分以上)

21～30	事前学習	今年度の論文作成のための問題等の明確化。投稿先の検索及び投稿条件などの確認。(120分以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	投稿条件にあわせて論文作成。(120分以上)
31	事前学習	今年度の目標設定。論文テーマ策定。(120分以上)
	授業内容	年間スケジュールの確認。論文投稿へ向けての準備。
	事後学習	今年度のテーマの明確化。(120分以上)
32～40	事前学習	今年度の論文作成のための問題等の明確化。投稿先の検索及び投稿条件などの確認。(120分以上)
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 今年度投稿論文の研究テーマの決定
	事後学習	投稿論文のための章立て(120分以上)
41～50	事前学習	投稿論文のための章立て(120分以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	投稿条件にあわせて論文作成。(120分以上)
51～60	事前学習	年度末～夏までの投稿論文へ向けての準備。投稿先及び条件の確認。(120分以上)
	授業内容	年度末～夏までの投稿論文のテーマ策定。
	事後学習	投稿論文のための章立て(120分以上)
61	事前学習	投稿論文のための章立て(120分以上)
	授業内容	年間スケジュールの確認。最終目標としての博士論文テーマの確認など。
	事後学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。(120分以上)
62～70	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。(120分以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。(120分以上)
71～80	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。(120分以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。(120分以上)
81～90	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする(120分以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。博士論文完成。(120分以上)

科目名	研究指導	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	研究テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を指導する。また論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行い博士論文の完成につなげる。			
授業目的・到達目標	新聞学における理論、制度、歴史研究の基幹研究部門の専門知だけでなく、広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策などに関する知識を習得することを目的とする。 3年間の知識の蓄積や能力の育成を通して、批判的な思考力に基づく問題の分析能力や解決能力だけでなく、高度な倫理観を育んだことを例証することを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科1、2、3、4、5、6、7、8			
履修条件	ジャーナリズムの規範理論を自らの専門領域にしようと思う者のみに履修してもらいたい。			
授業方法	博士論文を作成する。教員の指導、受講者の発表、両者で協力しての博士論文の作成といった手順で、進めていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	博士論文の完成度100%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	毎週月曜日昼休み あるいはメールにて予約 tsukamoto.seijiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	自身の研究計画を明確に説明できるようにする。(60分以上)
	授業内容	博士論文完成までのスケジュールを説明するとともに、受講者の研究計画を確認する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(60分以上)
2~10	事前学習	質問事項の整理、および先行研究と方法論の確認をしておく。(各60分以上)
	授業内容	研究目的の設定し、方法論の検討と先行研究の検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
11~20	事前学習	前回までの講義を踏まえ、研究計画を修正しておく。(各60分以上)
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認し、研究テーマの決定した後に、論文概要の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)

21～30	事前学習	必要な先行研究に関するレビューを完了しておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として、先行研究の読み方の指導と仮説の検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
31	事前学習	仮説に至る過程を中心に、報告の準備をしておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として仮説の書き方と設定の仕方を指導した後、2回目の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
32～40	事前学習	方法論に関する報告の準備をしておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として方法論の解説と検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
41～50	事前学習	必要な資料・データ等をすべてそろえ、内容を理解しておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として分析方法の解説及び考察を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
51～60	事前学習	分析等すべての研究過程を終えて、一先ず最終的な報告ができる状態にする。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として分析結果の検討及び分析結果の修正を行う。
	事後学習	論文指導として分析結果の検討及び分析結果の修正を行う。
61	事前学習	一先ず研究を完了し、報告の準備をしておく。(各60分以上)
	授業内容	3回目の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
62～70	事前学習	分析のし直し等修正点を確認しておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導としてすべての修正点を指摘し修正方法を理解させる。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
71～80	事前学習	論文を書き上げ、内容のチェックを受けられる状態にしておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として分析結果の修正及び論文の表記方法の確認と指導を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
81～90	事前学習	修正を完了し、論文を完成させておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導の総括として、完成した論文の研究発表と講評を行う。
	事後学習	指摘された点を修正する。論文を完成させる。(各60分以上)

科目名	合同演習	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代以降のメディア環境、情報環境を前提にそれら変化と社会体の編成とに関する理論的な考察を通して、メディア社会、メディア文化に関する理論的な考察をおこなう。とくにこの1では、メディア社会に大きく焦点をあてる。			
授業目的・到達目標	理論的なアプローチを前提に、メディア社会、情報社会、メディア文化、情報文化について考察できるようになることを目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	受講生と相談しながらテキストを選定し、講読……レジュメを作成し、議論を通して理解する形式をとる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平常のテキスト講読、毎回のレジュメ作成と報告、議論とそれらのまとめとしてのレポート作成による。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業内容に記したように、受講生の目的にあわせて相談して決定する。		
参考書	授業時に適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜日6限を基本とするが、メールにて確認を。kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを確認しておくこと。(30分以上)
	授業内容	ガイダンス授業 授業の目的、スケジュール、今後の計画など
	事後学習	講読すべきテキストの下調べ。(30分以上)
2	事前学習	テキスト候補をいくつか選定しておく。(30分以上)
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。(30分以上)
3	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成(30分以上)

28	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成(30分以上)
29	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成(30分以上)
30	事前学習	全体のまとめとしての議論のポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	全体のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成。(30分以上)

科目名	合同演習	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	研究者養成を前提とし、学会発表と学会誌掲載論文の作成指導をする。			
授業目的・到達目標	受講者の所属学会での口頭発表と学会誌掲載を達成する。			
履修条件	学会に所属し当該学会で口頭発表と当該学会誌への論文掲載を目標とする者のみとする。			
授業方法	学会発表に値する発表方法と、学会誌に値する論文作成の具体的指導を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	受講者所属学会での発表内容と当該学会誌掲載論文の内容により評価する	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	適宜指定する。			
オフィスアワー				

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを確認し、当演習における研究計画を考えておくこと。(60分以上)
	授業内容	初回ガイダンス
	事後学習	研究計画をまとめる。(60分以上)
2	事前学習	文献・資料に目を通し、報告の準備をおこなう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
3	事前学習	文献・資料に目を通し、報告の準備をおこなう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)

4	事前学習	文献・資料に目を通し、報告の準備をおこなう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
5	事前学習	文献・資料に目を通し、報告の準備をおこなう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
6	事前学習	文献・資料に目を通し、報告の準備をおこなう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
7	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
8	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
9	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
10	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
11	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
12	事前学習	レジュメ作成、報告の準備をおこなう。(60分以上)
	授業内容	学会発表の予行演習
	事後学習	指摘事項を振り返り、まとめる。(60分以上)
13	事前学習	レジュメ作成、報告の準備をおこなう。(60分以上)
	授業内容	学会発表の予行演習
	事後学習	指摘事項を振り返り、まとめる。(60分以上)
14	事前学習	学会発表を振り返り、今後の課題を整理しておくこと。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	改善点をまとめ、研究計画に反映する。(60分以上)
15	事前学習	研究計画の修正(見直し)をしておくこと。(60分以上)
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	夏季休業中の課題をまとめる。(60分以上)

16	事前学習	夏季休業中の課題をまとめる。(60分以上)
	授業内容	後期ガイダンス、研究進捗報告
	事後学習	指摘事項を振り返り、まとめる。(60分以上)
17	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
18	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
19	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
20	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
21	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
22	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
23	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
24	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
25	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
26	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)
27	事前学習	研究の進捗状況をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	討論内容を振り返り、まとめる。(60分以上)

28	事前学習	投稿論文の草稿をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	研究論文報告
	事後学習	指摘事項を振り返り、まとめる。(60分以上)
29	事前学習	投稿論文の草稿をまとめ、報告の準備を行なう。(60分以上)
	授業内容	研究論文報告
	事後学習	指摘事項を振り返り、まとめる。(60分以上)
30	事前学習	これまでの研究の成果を振り返り、今後の課題を整理しておくこと。(60分以上)
	授業内容	総括
	事後学習	研究計画の修正(見直し)をしておくこと。(60分以上)

科目名	国際コミュニケーション論特殊講義	担当者	鈴木 雄雅	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義はグローバル社会におけるメディアの影響を多角度から学ぶために、前学期は国際コミュニケーションの基礎と現代に至る進展を、後学期は各論（テーマ別）＝ニュース論、戦争、グローバル化するメディア文化などの諸問題をとりあげる。授業に関係するシンポジウムなど（大学内、大学外）があれば授業の一助として活用する。前後学期とも受講生との対話を重視する。			
授業目的・到達目標	本講義はマス・メディアやインターネットを介した国際間の情報流通の諸問題を手がかりにして、国際間のコミュニケーションの諸問題を考える。異なる政治経済体制の国々、歴史や文化を異にする国々の中で南北問題や開発問題など、さまざまな局面にみられる国際間のコミュニケーションの問題を扱う。そのなかで、国際間のコミュニケーションのあり方を主軸に国際報道、ジャーナリズム、マス・メディアのあり方、マス・メディアへの接し方を学ぶ場とする。コミュニケーション、マス・コミュニケーションの基礎的な知識を修得し、国際間におけるマス・メディア/メディアの役割（機能）を考えることができること。ジャーナリズムの果たすべき役割は何かを問うことができるようにする。関連するDP・CP 1, 3			
履修条件	今日のグローバル社会に身を置き、マス・メディア/インターネットに主体的に接することが日常に行えること。国際間のニュースの流れ、ジャーナリズムの役割、マス・メディアの現在に関心のある学生			
授業方法	クイズやインターネットを使ったリアクション、ビデオ映像、新聞記事などから、多面的にアクセスする。毎回ではないが、映像メディアを利用して、現代社会で何がニュースとなっているかや、時事解説を講義に取り入れるので、下記にシラバスについては必ずしも一致しない場合もある。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業参加度、リアクションペーパー、アサイメントの提出及び国際コミュニケーション、グローバル・コミュニケーションの基礎を理解しているかどうかを評価の一助とする	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2003	ミネルヴァ書房	グローバル社会とメディア	武市英雄・原寿雄（責任編集）
	2018	春風社	世界のメディア	小寺敦之（編）
	備考	その他指定文献、論文などは講義時に適宜紹介する。		
参考書	H. H. フレデリック、武市英雄ほか（訳）『グローバル・コミュニケーション』（松柏社、1996）、山本賢二・小川浩一（編著）『国際コミュニケーションとメディア－東アジアの諸相－』（学文社、2019）			
オフィスアワー	授業時間後、授業講堂にて。その他Email(HAF00025@nifty.ne.jp)で随時、質問・相談を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	当該科目の履修確認。また、事前にシラバスを確認しておくこと。（2時間） Google Classroomに授業クラスを作成しますので、大学メールをチェックのこと
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	当該科目の履修届。また、これまでの復習を行っておくこと（2時間）
2	事前学習	前回授業内容、資料の確認 各回レジュメ（サイトアクセスを含む）を配布する。授業計画中の文献には書籍、論文、新聞・ネット記事（ニュース）、映像、URLなどを含む。（2時間）
	授業内容	概念、定義(1) コミュニケーション、マス・コミュニケーション
	事後学習	指定文献・論文の精読（2時間）
3	事前学習	前回授業内容と資料の読解（2時間）
	授業内容	概念、定義(2) 国際コミュニケーション、グローバリゼーション
	事後学習	指定文献の精読（2時間）

4	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	グローバル化とメディアの進展(1)
	事後学習	グローバル社会とメディア 1章（2時間）
5	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	グローバル化とメディアの進展(2)
	事後学習	グローバル社会とメディア 2章（2時間）
6	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	グローバル化とメディアの進展(3)
	事後学習	グローバル社会とメディア 3章（2時間）
7	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	新世界情報コミュニケーション秩序（NWICO）論争(1)
	事後学習	アサイメント（1）（2時間）
8	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	新世界情報コミュニケーション秩序（NWICO）論争(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
9	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	冷戦崩壊と国境を越えるテレビ(1)東欧の崩壊（映像利用）
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
10	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	冷戦崩壊と国境を越えるテレビ(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
11	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア8章（2時間）
	授業内容	マス・メディアからメガ・メディアの時代(1)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
12	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア8章（2時間）
	授業内容	メガ・メディアからギガ・メディアの時代(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
13	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア6章（2時間）
	授業内容	文化摩擦、情報格差とメディア(1)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
14	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア6章（2時間）
	授業内容	文化摩擦、情報格差とメディア(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
15	事前学習	2～14回目講義ノートの通読 レポートの作成（2時間）
	授業内容	総括 グローバルコミュニケーションを規定する要因
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと（2時間）

16	事前学習	前学期履修した内容の復習（2時間）
	授業内容	後学期のオリエンテーション・進め方について
	事後学習	指定資料などの精読（2時間）
17	事前学習	教科書5章「グローバル社会とメディア」（2時間）
	授業内容	ジャーナリズム機能と国際報道に期待される役割(1)
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
18	事前学習	前回資料の確認（2時間）
	授業内容	ジャーナリズム機能と国際報道に期待される役割(2)
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
19	事前学習	グローバル社会とメディア 7章（2時間）
	授業内容	国際報道、政治報道の諸問題(1) 日米報道
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
20	事前学習	グローバル社会とメディア 5章（2時間）
	授業内容	国際報道、政治報道の諸問題(2) 客観報道主義
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
21	事前学習	日露戦争を調べる（2時間）
	授業内容	戦争とメディア：日露戦争（映像利用）
	事後学習	アサイメント（リアベ）（2時間）
22	事前学習	ベトナム戦争を調べる（2時間）
	授業内容	プロパガンダ、戦争（紛争）と国際報道をめぐる諸問題(1) ベトナム戦争（映像利用）
	事後学習	アサイメント（リアベ）（2時間）
23	事前学習	湾岸戦争、イラク戦争を調べる（2時間）
	授業内容	プロパガンダ、戦争（紛争）と国際報道をめぐる諸問題(2) 湾岸戦争、イラク戦争（映像利用）
	事後学習	アサイメント（リアベ）（2時間）
24	事前学習	グローバル社会とメディア 6章（2時間）
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(1)-韓流・華流
	事後学習	関係サイトの閲覧、トピックの検出（2時間）
25	事前学習	前回事後学習の確認（2時間）
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(2)-ジャパニメーション
	事後学習	実態の把握（2時間）
26	事前学習	指定論文を読む（2時間）
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(3) GAFA+
	事後学習	指定論文の精読（2時間）
27	事前学習	前回講義の復習（2時間）
	授業内容	インターネット時代の国際報道(1) フェイクニュースの登場とポピュリズムの台頭
	事後学習	国際報道の検証（2時間）

28	事前学習	指定論文（2時間）
	授業内容	インターネット時代の国際報道(2) 国際メディア監視組織
	事後学習	国際報道の検証（2時間）
29	事前学習	2回の国際報道講義の復習（2時間）
	授業内容	インターネット時代の国際報道(3) テロ・ポピュリズム
	事後学習	まとめ（2時間）
30	事前学習	17～29回講義ノートの通読 レポートの作成（2時間）
	授業内容	総括
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと（2時間）

科目名	ジャーナリズム史特殊演習(思想)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代以降の社会にとって、ジャーナリズムおよびメディアをめぐる思考は、思想史においても重要な焦点となる。そこで、社会様式、メディア環境、情報環境の変容とともに、それらをめぐる思考をたどりながら、現代へのアプローチを考える。			
授業目的・到達目標	社会体の編成のなかにジャーナリズムやメディアをめぐる思考を位置づけ、その変容を捉えられるようになる。単に思想の変化を単純な反映論や決定論ではなく、ディスカールの編成として捉え、それをもとに現代を考えられるようになる。			
履修条件	とくにない。			
授業方法	受講生と相談しながらテキストを選定し、講読……レジュメを作成し、議論を通して理解する形式をとる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平常のテキスト講読、毎回のレジュメ作成と報告、議論とそれらのまとめとしてのレポート作成による。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業内容に記したように、受講生の目的にあわせて相談して決定する。		
参考書	授業時に適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜日6限を基本とするが、メールにて確認を。kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。(30分以上)
	授業内容	ガイダンス授業 授業の目的、スケジュール、今後の計画など
	事後学習	講読すべきテキストの下調べ。(30分以上)
2	事前学習	前期のテキスト候補をいくつか選定しておく。(30分以上)
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。(30分以上)
3	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)

4	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
5	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
6	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
7	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
8	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
9	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
10	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
11	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
12	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
13	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
14	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と前期のまとめのレジュメ作成。(30分以上)
15	事前学習	前期のまとめとしての議論のポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	前期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成(30分以上)

16	事前学習	後期のテキスト候補をいくつか選定しておく。(30分以上)
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。(30分以上)
17	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
18	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
19	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
20	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
21	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
22	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
23	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
24	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
25	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
26	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
27	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)

28	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジメ作成。(30分以上)
29	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と後期のまとめのレジメ作成。(30分以上)
30	事前学習	後期のまとめとしての議論のポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	後期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成。(30分以上)

科目名	ジャーナリズム史特殊研究(思想)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代以降の社会にとって、ジャーナリズムおよびメディアをめぐる思考は、思想史においても重要な焦点となる。そこで、社会様式、メディア環境、情報環境の変容とともに、それらをめぐる思考をたどりながら、近代思想を捉え直す。			
授業目的・到達目標	社会体の編成のなかにジャーナリズムやメディアをめぐる思考を位置づけ、その変容を捉えられるようになる。単に思想の変化を単純な反映論や決定論ではなく、ディスクールの編成として捉え、それをもとに現代を考えられるようになる。			
履修条件	とくにない。			
授業方法	受講生と相談しながらテキストを選定し、講読……レジュメを作成し、議論を通して理解する形式をとる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平常のテキスト講読、毎回のレジュメ作成と報告、議論とそれらのまとめとしてのレポート作成による。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業内容に記したように、受講生の目的にあわせて相談して決定する。		
参考書	授業時に適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜日6限を基本とするが、メールにて確認を。kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。(30分以上)
	授業内容	ガイダンス授業 授業の目的、スケジュール、今後の計画など
	事後学習	講読すべきテキストの下調べ。(30分以上)
2	事前学習	前期のテキスト候補をいくつか選定しておく。(30分以上)
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。(30分以上)
3	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)

4	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
5	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
6	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
7	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
8	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
9	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
10	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
11	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
12	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
13	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
14	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と前期のまとめのレジュメ作成。(30分以上)
15	事前学習	前期のまとめとしての議論のポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	前期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成。(30分以上)

16	事前学習	後期のテキスト候補をいくつか選定しておく。(30分以上)
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。(30分以上)
17	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
18	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
19	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
20	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
21	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
22	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
23	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
24	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
25	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
26	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
27	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)

28	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。(30分以上)
29	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と後期のまとめのレジュメ作成。(30分以上)
30	事前学習	後期のまとめとしての議論のポイントの確認。(30分以上)
	授業内容	後期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成。(30分以上)

科目名	ジャーナリズム制度特殊演習(システム)	担当者	岩井 奉信	期間	通年	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムやマスメディアをめぐる法制度や政策に関し、各自がテーマを定め、自ら資料やデータを収集、分析することを通じて、今日のジャーナリズム及びメディア制度の実態について、その理想と現実にかんする実証的な研究を行っていく。			
授業目的・到達目標	ジャーナリズムやマスメディアをめぐる法制度や政策について、受講者が自らテーマを定め、実証的研究を行うことを通じて、現代日本におけるメディアと政治に関する知識と理解を深めるだけでなく、研究者に不可欠な問題意識の醸成を促し、独自に研究を進めていく力量を身につけることを目標とする。			
履修条件	日本政治とメディアについて、深い知識と関心を有し、特定のテーマに関する問題意識を持っていること。			
授業方法	各自がテーマを定め、自ら研究を行っていくインデペンデント・リサーチが中心となる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	研究への姿勢やその成果に対して評価を行う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	必要に応じて指示する。			
オフィスアワー	木曜日 昼休み 2号館大学院教員室			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。(30分以上)
	授業内容	ジャーナリズム制度の分析視点について検討する。
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。(30分以上)
2	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチのテーマの設定
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。(30分以上)
3	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチに関する具体的手順の検討。
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。(30分以上)

16	事前学習	これまでの研究成果をもとに研究を深めるための検討を行うこと。(30分以上)
	授業内容	研究テーマや方法の再検討
	事後学習	新たな研究テーマに必要な分析手法などの検討を行うこと。(30分以上)
17	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
18	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
19	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
20	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
21	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
22	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
23	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
24	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
25	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
26	事前学習	これまでの研究成果にもとづき、作成する論文の構成について検討すること。(30分以上)
	授業内容	研究論文の構成案の作成
	事後学習	授業での検討にもとづき、論文構成のブラッシュアップを行う。(30分以上)
27	事前学習	研究論文の作成を行い、概要あるいはスケルトンを作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の第一回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)

28	事前学習	研究論文を独自に作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の第二回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)
29	事前学習	研究論文を独自に作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の第三回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)
30	事前学習	研究論文を独自に作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の最終口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)

科目名	ジャーナリズム制度特殊研究(システム)	担当者	岩井 奉信	期間	通年	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムやマスメディアをめぐる法制度や政策に関し、各自がテーマを定め、自ら資料やデータを収集、分析することを通じて、今日のジャーナリズム及びメディア制度の実態について、その理想と現実にかんする実証的な研究を行っていく。						
授業目的・到達目標	ジャーナリズムやマスメディアをめぐる法制度や政策について、受講者が自らテーマを定め、実証的研究を行うことを通じて、現代日本におけるメディアと政治に関する知識と理解を深めるだけでなく、研究者に不可欠な問題意識の醸成を促し、独自に研究を進めていく力量を身につけることを目標とする。						
履修条件	日本政治とメディアについて、深い知識と関心を有し、特定のテーマに関する問題意識を持っていること。						
授業方法	各自がテーマを定め、自ら研究を行っていくインデペンデント・リサーチが中心となる。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	研究への姿勢やその成果に対して評価を行う。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考						
参考書	必要に応じて指示する。						
オフィスアワー	木曜日 昼休み 2号館大学院教員室						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。(30分以上)
	授業内容	ジャーナリズム制度の分析視点について検討する。
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。(30分以上)
2	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチのテーマの設定
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。(30分以上)
3	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチに関する具体的手順の検討。
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。(30分以上)

16	事前学習	これまでの研究成果をもとに研究を深めるための検討を行うこと。(30分以上)
	授業内容	研究テーマや方法の再検討
	事後学習	新たな研究テーマに必要な分析手法などの検討を行うこと。(30分以上)
17	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
18	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
19	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
20	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
21	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
22	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
23	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
24	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
25	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。(30分以上)
26	事前学習	これまでの研究成果にもとづき、作成する論文の構成について検討すること。(30分以上)
	授業内容	研究論文の構成案の作成
	事後学習	授業での検討にもとづき、論文構成のブラッシュアップを行う。(30分以上)
27	事前学習	研究論文の作成を行い、概要あるいはスケルトンを作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の第一回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)

28	事前学習	研究論文を独自に作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の第二回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)
29	事前学習	研究論文を独自に作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の第三回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)
30	事前学習	研究論文を独自に作成する。(30分以上)
	授業内容	研究論文の最終口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。(30分以上)

科目名	ジャーナリズム調査演習 I	担当者	中正樹	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズム調査における基本的な考え方や方法論を、演習形式で学ぶ。本演習において調査対象になるのは、新聞ジャーナリズムが提供するテキスト形式のニュース・コンテンツである。			
授業目的・到達目標	本授業の目的は、新聞ジャーナリズムが提供するニュース・コンテンツに関する実証研究を通じて、実証研究の意義と意味、そして有効性を理解することである。そのために、ニュース・コンテンツに対する内容分析と考察、及びそれらを説明できる能力を習得することを目標とする。 関連するDP・CP：4・5・7			
履修条件	ノートパソコン、またはタブレットを用いて受講可能な環境を用意できること。			
授業方法	調査方法に対する講義とディスカッション、実際の作業を中心に進める。授業では資料は配布しない。事前に、Google Classroomを通じて配布する。受講生は、資料を授業前に読み込んでおく。また、受講生による発表は、ノートパソコンまたはタブレットを使用する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	授業への参加度で判断する。	
	平常評価	100%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	特になし。			
オフィスアワー	月曜日12:10-13:00 研究室 (9号館5階9506研究室) ※事前にアポイントメントをとること (メールアドレス:naka.masaki@nihon-u.ac.jp)			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを読んでおく (2時間)。
	授業内容	ガイダンス／導入講義 授業の内容、進め方について確認する。
	事後学習	ガイダンスの内容について十分に理解する (2時間)。
2	事前学習	新聞ジャーナリズムが提供する記事の意義と意味について考えをまとめておく (2時間)。
	授業内容	ニュースとは何か 新聞ジャーナリズムが提供する記事の意義と意味についてディスカッションする。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める (2時間)。
3	事前学習	調査対象とするイベントをピックアップし、その概要を説明できるように準備する (2時間)。
	授業内容	調査テーマの検討 (1) 調査対象とするイベントについて検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める (2時間)。

4	事前学習	調査対象とするイベントをピックアップし、その概要を説明できるように準備する（2時間）。
	授業内容	調査テーマの検討（2） 調査対象とするイベントについて検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
5	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（2時間）。
	授業内容	先行研究の検討（1） 調査において参考となる先行研究について検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
6	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（2時間）。
	授業内容	先行研究の検討（2） 調査において参考となる先行研究について検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
7	事前学習	先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を立案する（2時間）。
	授業内容	<調査計画の報告> 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
8	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った新聞ジャーナリズムが提供する記事を収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	調査計画の報告（1） 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
9	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った新聞ジャーナリズムが提供する記事を収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	調査計画の報告（2） 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
10	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った新聞ジャーナリズムが提供する記事を収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	内容分析（1） 収集した新聞ジャーナリズムが提供する記事を内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
11	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った新聞ジャーナリズムが提供する記事を収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	内容分析（2） 収集した新聞ジャーナリズムが提供する記事を内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
12	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（2時間）。
	授業内容	プレゼンテーション（1） 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、新聞ジャーナリズムに対する理解を深める（2時間）。
13	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（2時間）。
	授業内容	プレゼンテーション（2） 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、新聞ジャーナリズムに対する理解を深める（2時間）。
14	事前学習	すべての調査結果を取りまとめ、調査報告書を作成する。（2時間）。
	授業内容	調査報告書の検討（1） 調査の概要およびその結果をまとめた調査報告書を提出してもらい、その内容について意見を交換する。
	事後学習	調査報告書に対する意見交換を通じて得た知見をもとに、ジャーナリズム調査に対する理解を深める（2時間）。
15	事前学習	すべての調査結果を取りまとめ、調査報告書を作成する。（2時間）。
	授業内容	調査報告書の検討（2） 調査の概要およびその結果をまとめた調査報告書を提出してもらい、その内容について意見を交換する。
	事後学習	調査報告書に対する意見交換を通じて得た知見をもとに、ジャーナリズム調査に対する理解を深める（2時間）。

科目名	ジャーナリズム調査演習Ⅲ	担当者	柴田 秀一	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は、放送局ニュース番組制作の現場を経験した講師が、テレビ・ラジオニュースを通じたジャーナリズムの在り方や、実際がどのようになっているかを解説、テレビ報道や情報番組の抱える問題点を明らかにするとともに、今後のテレビ・ラジオニュースの在り方や課題を明らかにする。			
授業目的・到達目標	テレビニュース制作の現場におけるさまざまな問題点を整理しながら、テレビ・メディアの問題点を探ることができる人材養成を目的とする。マス・メディアへの就職や研究者等を目指す受講者へ、テレビ・ラジオジャーナリズムの基本的な構造と問題点並びに広く社会環境やメディアに影響を与えている関連法制や関連政策などに関する知識の蓄積や能力の育成を通じ、批判思考力や倫理観を涵養することを目標とする。受講生自らニュース特集等を企画し取材する事を最終目標とする。 関連するDP・CP新聞学研究科4, 5, 7			
履修条件	一年次生対象			
授業方法	講義、受講生との討論・レポート発表、放送局見学等でTVニュースの実際を知る。ニュース担当者等をゲスト招聘も。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業態度、授業内レポート提出、研究課題の特集の発表などを総合して評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	必要に応じて適宜指示する。			
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	ニュース・情報等テレビ番組を見ておく。その中で、ニュース番組の占める位置、内容を（3時間）
	授業内容	オリエンテーション テレビニュースについて、今後の授業展開やニュース現場とのかかわりを確認する。
	事後学習	当日の夜のテレビニュース番組を見比べて報道内容の違いを書いてみる。（1時間）
2	事前学習	「ビデオリサーチ社」のホームページにアクセスして、視聴率について調べておく。（2時間）
	授業内容	「テレビニュースの特徴」 テレビのニュースは、その日起きた出来事を中心にストレート（短い1～2分のニュース）と特集で成り立つ。新聞や雑誌で取り上げる出来事と同じものもあるが違うものもある。テレビのニュースの特徴を取り上げる。
	事後学習	「ビデオリサーチ社」のホームページでタイムシフト視聴の具体的な数字を見てみる。各放送局のホームページを見比べてみる。（2時間）
3	事前学習	前日までのテレビニュースを見る。同時にSNSを調べ、同じニュースがどのような形でツイートされたり、情報交換がされたりしているか調べる（3時間）
	授業内容	「ニュース現場とSNS」 今、誰でも何時でもスマートフォンで情報を発信できる。マスコミュニケーションに属する記者だけが情報発信の能力があった時代とは違い、マスコミが捜査機関、役所等からの情報を得る前にすでに事件・事故・出来事の現場、あるいは近くに、一般社会の人々がいて情報を発信する。そうした現代の問題点を探る。
	事後学習	Twitter, facebook, Instagramなどを調べ、ニュース番組で取り上げられたとの項目との関連ニュースを見てみる（1時間）

4	事前学習	フェイクニュースはどのようなものをいうか調べておく。フェイクニュースをどう見極め、見破るか前例を調べてみる(3時間)
	授業内容	「フェイクニュース」 フェイクニュースとは何か。様々な例からその情報が発生する原因、背景、時期
	事後学習	自分の興味のある番組は、どんな時間帯にどのような形で放送されているか知る。また、何故そうなっているかを考える。(2時間)
5	事前学習	アメリカに端を発するファクトチェックとは何か、どんなことをして言説の真偽を確かめるのか調べておく(3時間)
	授業内容	「ファクトチェック」①ファクトチェックとは何か、何故生まれたか、国際基準はあるか、日本での組織はあるか等ファクトチェックの基礎を研究する。
	事後学習	世の中の言説はその真偽を疑うものが数多くある。例えばそれはどんなものか。実際の既存マスコミやWebに表れている言説の真偽を1つ確かめてみる。(1時間)
6	事前学習	2018年沖縄県知事選についてどのような経過を辿ったか、争点は何だったのか調べておく。(1時間)
	授業内容	「ファクトチェック」② 実際の例を沖縄県知事選での地元新聞2紙(琉球新報・沖縄タイムス)ファクトチェックに学ぶ。
	事後学習	実際の選挙での言説で過去自分が見聞きしたものの中に真偽不明の言説があったか調べ、その真偽がどうであったか分かるか調べてみる(3時間)
7	事前学習	定時ニュースを何日か続けてみておく。「ストレートニュース」と言われる情報番組内、独立枠でコメント等をさしはさまない形式でそれまで起きたニュースを何項目か続けて放送するものだが、その項目構成を見ておく。(2時間)
	授業内容	「ニュース番組が出来るまで」ニュースの取材手法、テレビニュースはどうできるか時系列を追って説明、情報を得るきっかけから、取材、映像撮影、原稿執筆、映像編集、放送迄を探る。
	事後学習	各放送局の昼、夕方のニュースを見比べてみて、同じニュースも項目順が違っていたり、会見やインタビュー、「ぶら下がり」と呼ばれる議員や著名人の政務、仕事の合間に立ち話形式の質疑応答も使われる場所が変わったりすることを知る。(2時間)
8	事前学習	メディアスクラムとは何か。どんな例があったか調べてみる。(2時間)
	授業内容	「報道倫理」 名誉毀損、メディアスクラムは何故おこるかを考え、実際の例を学ぶ。
	事後学習	世の中の関心事にメディアスクラムは起こるが、そうならない為には何が必要かここに考えてみる。(2時間)
9	事前学習	各放送局のニュースサイト(ホームページからアクセス)で原稿内容と映像内容を比較してみる。どんな違いがあるか。(2時間)
	授業内容	「ニュース取材の手法」 実例に基づく取材手法 調査報道 実際の特集ビデオをどこまで取材結果が明らかになるか、また、どういう点に注意しながら放送しているかに留意しながら見る。
	事後学習	取材で注意すべきことは何か、取材は何の菜目にするか、もう一度まとめてみる。(2時間)
10	事前学習	新聞記事を読み比べる。同一の出来事を扱った記事を朝日、毎日、読売で内容を比べてその記事の特徴を記してみる(3時間)
	授業内容	記者模擬体験 発表文から原稿を作ってみる。
	事後学習	書いた自分の記事をもう一度実際の記事と比べてみる。(1時間)
11	事前学習	数日前から各局テレビニュースを見ておく。その際、各局の各番組にどのような特徴があるか記しておく(3時間)
	授業内容	「ニュース編集長体験」 前日、または当日のテレビニュース項目を10項目ほど見て、トップから5ないし6項目迄のニュースの順番を選択し、ニュース編集長を体験する。
	事後学習	当日の夕方、夜のニュースを見て(1時間)
12	事前学習	ニュース番組の作られ方を復習し、同時にWeb等で情報を取りながら、見学当日のニュース項目を予測する。(3時間)
	授業内容	「TV局現場の見学」 テレビ局内で、ニュース番組の生放送を見学する。(相手方の都合によって見学出来ない場合もある。)
	事後学習	見学結果を踏まえて、入ったスタジオでの放送番組をテレビ番組として生放送で見てみる。(1時間)
13	事前学習	BPOについて調べておく(1時間)
	授業内容	「BPOと放送倫理」 放送されることが増えたBPOとは何か、何故そうした組織が作られたのか。更に具体的に審議にかかった例を研究する。
	事後学習	テレビニュースを見て、その項目の内容に倫理的問題点があるとすれば、何か考える。(1時間)
14	事前学習	社会問題となっている事柄をジャンルを問わず取り上げ、徳州の企画としてA4判紙1枚にまとめ、発表できるようにする(7時間)
	授業内容	ニュース番組の特集企画: 報告とディスカッション 社会問題となっている事柄をジャンルを問わず取り上げ、テレビニュース特集企画としてA4判紙1枚にまとめ、発表し、合評する。
	事後学習	自ら発表した企画に対する、他人からの意見を参考にブラッシュアップする。(1時間)
15	事前学習	これまでの14回を振り返り、最も興味があったものを記しておく(1時間)
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	第14回の発表で自分の企画意図が十分に相手に伝わったか画像を見てもう一度考える(1時間)

科目名	ジャーナリズム理論特殊演習(規範)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は規範理論の領域における研究を深める目的で、規範理論の論文作成指導を行う。			
授業目的・到達目標	国際的な水準の研究に到達できるように、ジャーナリズムの規範理論を単なる知識ではなく、十分に理解し応用可能にすることを目的とする。ジャーナリズムの規範理論に関する論文を作成することによって、独自の視点からジャーナリズムに関する諸問題を新たに解釈し、位置づける専門的な分析能力を体得することを目標とする。			
履修条件	ジャーナリズムの規範理論を研究者としての、自らの専門領域にしようと思う者のみに履修してもらいたい。			
授業方法	論文を作成する。教員の指導、受講者の発表、両方で協力しての修士論文の作成といった手順で、進めていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	論文完成度100%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	必要に応じて適宜支持する。			
オフィスアワー	毎週月曜日昼休み あるいはメールにて予約 tsukamoto.seijiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	自身の研究計画を明確に説明できるようにする。(30分)
	授業内容	論文完成までのスケジュールを説明するとともに、受講者の研究計画を確認する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。研究目的を再検討しておく。(30分)
2	事前学習	質問事項の整理、および研究目的を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	研究目的設定の検討を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。参考とすべき先行研究を選んでおく(30分)
3	事前学習	質問事項の整理、および選んだ先行研究を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	先行研究の検討を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。方法論を検討しておく。(30分)

4	事前学習	質問事項の整理、方法論を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	方法論の検討を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。研究計画全体を再検討する。(30分)
5	事前学習	前回までの指導を踏まえ、研究計画を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	研究計画全体を再検討する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。研究テーマを再検討しておく。(30分)
6	事前学習	前回までの指導を踏まえ、研究テーマを明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	研究テーマを決定する。。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。仮説を再検討しておく。(30分)
7	事前学習	前回までの指導を踏まえ、仮説を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	仮説を再検討する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。論文概要の中間報告の準備を行う。(30分)
8	事前学習	前回までの指導を踏まえ、論文概要の中間報告の内容を確認する(30分)
	授業内容	論文概要の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。必要な先行研究に関するレビューを完了しておく。(30分)
9	事前学習	先行研究のレビューを明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	先行研究のレビューを行う。その講評の後、先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。指導内容に応じて、参考文献を用意する。(30分)
10	事前学習	参考文献の内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。(30分)
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。(30分)
11	事前学習	先行研究を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認し、指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。仮説と方法論の関係を再検討しておく。(30分)
12	事前学習	仮説と方法論の関係を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	仮説と方法論の関係を確認し指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。仮説と方法論の関係を確認し方法論を再検討する。(30分)
13	事前学習	方法論を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	方法論を確定する。
	事後学習	確定した方法論にしたがって、必要な資料やデータの収集を行う。(30分)
14	事前学習	収集した資料やデータを整理して報告できるようにしておく。(30分)
	授業内容	収集した資料やデータを確認し、追加資料等の必要性などを指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。資料やデータの収集を引き続き行う。(30分)
15	事前学習	収集した資料やデータを整理して報告できるようにしておく。(30分)
	授業内容	収集した資料やデータを再確認する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。収集した資料やデータを方法論に従って分析する。(30分)

16	事前学習	収集した資料やデータを方法論に従って分析結果を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	収集した資料やデータの分析結果の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。分析結果の発表内容を再検討する。(30分)
17	事前学習	分析結果の発表の再検討内容を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	分析結果の再発表を行わせ、講評する。分析結果の考察に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。分析結果の考察を行う。(30分)
18	事前学習	分析結果の考察を明確に説明できるようにしておく。(30分)
	授業内容	分析結果の考察を発表させ、講評する。考察の修正点を示し再検討を促す。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。考察の再検討を行う。(30分)
19	事前学習	再検討した考察を明確にしておく。(30分)
	授業内容	再検討した考察を報告させ、講評する。これまでの研究結果をまとめた発表の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。まとめの発表の準備をする。(30分)
20	事前学習	まとめの発表の内容を確認しておく。(30分)
	授業内容	まとめの発表を行わせ、講評を行う。必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。修正点を踏まえて、再発表の準備をする。(30分)
21	事前学習	再発表の内容を確認しておく。(30分)
	授業内容	再発表の後、論文作成に移るための指導を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。指導に従って、目次等を作成する。(30分)
22	事前学習	論文の目次等を明確にしておく。(30分)
	授業内容	論文の目次等を確認し、必要な修正点を指摘する。目次に従って、論文作成を進めることを促す。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。論文作成を開始する。問題意識に関する記述から始める(30分)
23	事前学習	問題意識に関する記述を完成させておく。(30分)
	授業内容	問題意識に関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。先行研究に関する記述を始める。(30分)
24	事前学習	先行研究に関する記述を完成させておく。(30分)
	授業内容	先行研究に関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。方法に関する記述を始める。(30分)
25	事前学習	方法に関する記述を完成させておく。(30分)
	授業内容	方法に関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。仮説の記述を開始する。(30分)
26	事前学習	仮説の記述を完成させておく。(30分)
	授業内容	仮説の記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。事例等に関する記述を開始する。(30分)
27	事前学習	事例等の記述を完成させておく。(30分)
	授業内容	事例等の記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。資料やデータに関する記述を開始する。(30分)

28	事前学習	資料やデータに関する記述を完成させておく。(30分)
	授業内容	資料やデータに関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。序と結論の部分の記述を開始する。(30分)
29	事前学習	序と結論の部分の記述を完成させておく。(30分)
	授業内容	序と結論の部分の記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。全体を通読し、疑問点はないか確認しておく。(30分)
30	事前学習	疑問点を整理しておく。(30分)
	授業内容	全体を通読し、最終的なチェックを行う。
	事後学習	誤字脱字等の間違いがないか、最終的な点検を行う。(30分)

科目名	ジャーナリズム理論特殊研究(規範)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は規範理論の領域における研究を深める目的で、先行研究の方法論を体得するために、代表的なジャーナリズムの規範理論の研究ノートを作成する学修を行う。			
授業目的・到達目標	国際的な水準の研究に到達できるように、ジャーナリズムの規範理論を単なる知識ではなく、十分に理解し応用可能にすることを目的とする。 代表的なジャーナリズムの規範理論に関する先行研究を学ぶことによって、独自の視点からジャーナリズムに関する諸問題を新たに解釈し、位置づける専門的な分析能力を体得することを目標とする。			
履修条件	ジャーナリズムの規範理論を研究者としての、自らの専門領域にしようと思う者のみに履修してもらいたい。			
授業方法	三つの代表的なジャーナリズムの規範理論の研究ノートを作成する。教員の解説、受講者の発表、両方で協力しての研究ノート作成といった手順で、進めていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	三つの研究ノートの評価各30%、講義に臨む姿勢10%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	必要に応じて適宜支持する。			
オフィスアワー	毎週月曜日昼休み あるいはメールにて予約 tsukamoto.seijiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する先行研究を可能な限り用意する。(30分)
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムの先行研究を確認する。受講者の考え方を確認しながら、必要な先行研究を選んでいく。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。(30分)
2	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムの先行研究に関して再検討し、研究ノートの参考文献とする先行研究を確定する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。(30分)
3	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、参考文献を用意する。(30分)

4	事前学習	参考文献の内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。(30分)
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。(30分)
5	事前学習	先行研究が精緻に読めたかどうかを確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認する。読んできた先行研究をまとめて、リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備を行う。(30分)
6	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表の内容を確認する。(30分)
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表内容を再検討する。(30分)
7	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表の再検討内容を確認する。(30分)
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の再発表を行わせ、講評する。研究ノート作成に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。(30分)
8	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備に伴う疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化を具体的に進める。目次などを確定させ、受講生が研究ノートを書き進めやすいように指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化を進める。(30分)
9	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行途中での疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行状況を確認し、修正点を指摘する。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめる。(30分)
10	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめてみての疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	研究ノート「リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評をし、必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	研究ノート「リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評結果を理解し、必要に応じて修正し、完成させる。(30分)
11	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する先行研究を可能な限り用意する。(30分)
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムの先行研究を確認する。受講者の考え方を確認しながら、必要な先行研究を選んでいく。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。(30分)
12	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムの先行研究に関して再検討し、研究ノートの参考文献とする先行研究を確定する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。(30分)
13	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、参考文献を用意する。(30分)
14	事前学習	参考文献の内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。(30分)
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。(30分)
15	事前学習	先行研究が精緻に読めたかどうかを確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認する。読んできた先行研究をまとめて、リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表準備の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表準備を行う。(30分)

16	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表の内容を確認する。(30分)
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表内容を再検討する。(30分)
17	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表の再検討内容を確認する。(30分)
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の再発表を行わせ、講評する。研究ノート作成に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。(30分)
18	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備に伴う疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化を具体的に進める。目次などを確定させ、受講生が研究ノートを書き進めやすいように指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化を進める。(30分)
19	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行途中での疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行状況を確認し、修正点を指摘する
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめる。(30分)
20	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめてみるの疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	研究ノート「リベラル・ジャーナリズムに関する考察」の講評をし、必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	研究ノート「リベラル・ジャーナリズムに関する考察」の講評結果を理解し、必要に応じて修正し、完成させる。(30分)
21	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する先行研究を可能な限り用意する。(30分)
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムの先行研究を確認する。受講者の考え方を確認しながら、必要な先行研究を選んでいく。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。(30分)
22	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムの先行研究に関して再検討し、研究ノートの参考文献とする先行研究を確定する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。(30分)
23	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、参考文献を用意する。(30分)
24	事前学習	参考文献の内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。(30分)
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。(30分)
25	事前学習	先行研究が精緻に読めたかどうかを確認する。質問すべき事項をまとめておく。(30分)
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認する。読んできた先行研究をまとめて、コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備を行う。(30分)
26	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表の内容を確認する。(30分)
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表内容を再検討する。(30分)
27	事前学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。(30分)
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の再発表を行わせ、講評する。研究ノート作成に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。(30分)

28	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備に伴う疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化を具体的に進める。目次などを確定させ、受講生が研究ノートを書き進めやすいように指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化を進める。(30分)
29	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行途中での疑問点を確認をする。(30分)
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行状況を確認し、修正点を指摘する
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめる。(30分)
30	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめてみての疑問点を確認する。(30分)
	授業内容	研究ノート「コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評をし、必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	研究ノート「コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評結果を理解し、必要に応じて修正し、完成させる。(30分)

科目名	政治コミュニケーション論特殊講義	担当者	三谷 文栄	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	現代民主主義において、一般の人々はメディアを介して政治を経験することから、政治におけるメディアの役割は極めて重要である。近年は、インターネットやSNSなど、多様なコミュニケーションがみられるようになり、政治コミュニケーション研究は、より一層その重要性を増している。この講義を通じて政治とメディアを分析するための、基本的な枠組みを学ぶ。			
授業目的・到達目標	政治コミュニケーション論がいかに発展してきたのかを理解し、その上で政治コミュニケーション論で注目されている文献を取り上げ、議論する。それを通じて、政治コミュニケーション論の観点から、様々な出来事を分析できるようになることが目標である。関連するDP・CP 1, 3			
履修条件	特にないが、英語の文献を取り上げるので、英日辞書やアプリ等を準備してほしい。			
授業方法	基本的には英語文献の輪読を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業内の議論を通じて、各自の理解度を確認する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	字数制限により、ここで提示しきれないため、第一回目にて説明する。			
オフィスアワー	必要に応じて適宜対応します。			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを読む（2時間）
	授業内容	ガイダンス：講義のスケジュールや、分担の確認。
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
2	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
3	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）

4	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
5	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
6	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献のと討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
7	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
8	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
9	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
10	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
11	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
12	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
13	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
14	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)
15	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論と前期のまとめ
	事後学習	配布された文献を読む。(2時間)

28	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読み、自身の問題関心にどう関連するのかを確認する。(2時間)
29	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読み、自身の問題関心にどう関連するのかを確認する。(2時間)
30	事前学習	講義を通じて学んだ分析枠組みがどのように自身の研究に活用できるのかを考える。(2時間)
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論と後期のまとめ
	事後学習	学んだ分析枠組みを用いて、分析をする。(2時間)

科目名	政治ジャーナリズム論特殊講義	担当者	岩井 奉信	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、現代日本における政治とメディアの相互関係について、その実態について実証的に研究していく。日本政治とメディアの関連性について概観した上で、近年、問題になっているテレビと政治との関係について、番組の「送り手」を中心に、重点的に分析、研究を行っていく。詳細な授業内容については、履修者と相談の上で、決めていきたい。						
授業目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアと政治に関する実態を理解し説明できるようになる ・政治とテレビに関する分析視角についての問題意識の醸成 関連するDP・CP 1, 3						
履修条件	履修にあたっては、単なるメディアやジャーナリズムへの関心だけでなく、現代日本政治への関心を持ち、日本政治の現状について、一定の知識と理解をしていることが前提となる。						
授業方法	関連文献の輪読及び履修者による研究発表を基本とする。必要に応じて、学外での検修を行う場合がある。う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	授業への参加状況、輪読や研究発表の内容などの状況を評価の対象とする。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	2010年	有斐閣	メディアと政治			蒲島郁夫ほか	
	2014年	中公新書	日本政治とメディア			逢坂巖	
	備考						
参考書	サミュエル・ホブキンほか編『メディアが変える政治』2008年 東京大学出版会 佐々木毅・芹川洋一『政治を動かすメディア』2017年 東京大学出版会						
オフィスアワー	木曜日 昼休み 2号館大学院教員室						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。(2時間)
	授業内容	授業概要についての説明と履修者の関心領域の確認
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。(2時間)
2	事前学習	政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。(2時間)
	授業内容	メディアと政治についての現状について概観的な講義を行う。
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。(2時間)
3	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。(2時間)
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。(2時間)

4	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
5	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
6	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
7	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
8	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
9	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
10	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
11	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
12	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
13	事前学習	『メディアと政治』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『メディアと政治』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
14	事前学習	これまでの輪読に現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（2時間）
	授業内容	日本政治におけるメディアについて、討議を行う。
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
15	事前学習	これまでの輪読に現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（2時間）
	授業内容	前期まとめの議論
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。（2時間）

16	事前学習	現代のテレビの政治報道について関心を高めておくこと。(2時間)
	授業内容	テレビと政治に関する現代的課題についての概観
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。(2時間)
17	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。(2時間)
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 1
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。(2時間)
18	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。(2時間)
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 2
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。(2時間)
19	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。(2時間)
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 3
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。(2時間)
20	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること(2時間)
	授業内容	『日本政治とメディア』輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。(2時間)
21	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること(2時間)
	授業内容	『日本政治とメディア』輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。(2時間)
22	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること(2時間)
	授業内容	『日本政治とメディア』輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。(2時間)
23	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること(2時間)
	授業内容	『日本政治とメディア』輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。(2時間)
24	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること(2時間)
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 2
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。(2時間)
25	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること(2時間)
	授業内容	『日本政治とメディア』輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。(2時間)
26	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。(2時間)
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 1
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。(2時間)
27	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。(2時間)
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 2
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。(2時間)

28	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。(2時間)
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ3
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。(2時間)
29	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。(2時間)
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ4
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。(2時間)
30	事前学習	これまでの授業を振り返り、自らの問題意識を醸成すること。(2時間)
	授業内容	政治とメディアに関するまとめの議論
	事後学習	政治とメディアに関する今後の研究について考えること。(2時間)

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	学位論文作成のため、アプローチ、テーマ設定、先行研究のレビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を学修する。その際、テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を学修する。			
授業目的・到達目標	論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行う。その結果として、修士論文を完成すること（社会科学における修士論文は感想文ではないことが前提である）。 関連するDP・CP 新聞学研究科 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8			
履修条件	社会学、文化理論、メディア理論の基礎知識を修得済みの者。			
授業方法	講義と演習を併用した形式で行う。履修者の学問関心を優先し、当該関心を社会科学における論文とする方途を指示する。科学性と論理性を常に問う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平生の発表内容と最終論文の成果内容	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	とくにない。		
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜日6限を基本とするが、メールにて確認を。kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	研究テーマを明確にしておく。（1時間以上）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	年間スケジュールのなかで、研究の進行過程を位置づける。（1時間以上）
2～4	事前学習	研究テーマ、問題意識、方法を確認する。（1時間以上）
	授業内容	研究の目的の設定 方法論の検討 先行研究の検討
	事後学習	研究テーマに即して方法論の検討、先行研究の探索をおこなう。（1時間以上）
5～12	事前学習	問題意識を明確にしておく。（1時間以上）
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 研究テーマの決定 論文概要の中間報告 1
	事後学習	中間報告での問題点、不足点などを確認し、修正や深化へむけて展開する。（1時間以上）

13～20	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。(1時間以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。(1時間以上)
21～30	事前学習	現状の到達点を整理しておく。(1時間以上)
	授業内容	論文指導 中間報告 2
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。(1時間以上)
31～34	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。(1時間以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。(1時間以上)
35～41	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。(1時間以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。(1時間以上)
42～45	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。(1時間以上)
	授業内容	論文指導 中間報告 3
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。(1時間以上)
46～54	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。(1時間以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	執筆。(1時間以上)
55～58	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。(1時間以上)
	授業内容	論文指導
	事後学習	執筆。(1時間以上)
59～60	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。(1時間以上)
	授業内容	論文指導 論文の完成、報告
	事後学習	口頭試問へむけての準備。(1時間以上)

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	研究テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を指導する。また論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行い修士論文の完成につなげる。			
授業目的・到達目標	新聞学における理論、制度、歴史研究の基幹研究部門の専門知だけでなく、広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策などに関する知識を習得することを目的とする。 2年間の知識の蓄積や能力の育成を通して、批判的な思考力に基づく問題の分析能力や解決能力だけでなく、高度な倫理観を育んだことを例証することを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科1、2、3、4、5、6、7、8			
履修条件	ジャーナリズムの規範理論を自らの専門領域にしようと思う者のみに履修してもらいたい。			
授業方法	修士論文を作成する。教員の指導、受講者の発表、両者で協力しての修士論文の作成といった手順で、進めていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	修士論文の完成度100%。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	毎週月曜日昼休み あるいはメールにて予約 tsukamoto.seijiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	自身の研究計画を明確に説明できるようにする。(60分以上)
	授業内容	修士論文完成までのスケジュールを説明するとともに、受講者の研究計画を確認する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(60分以上)
2~4	事前学習	質問事項の整理、および先行研究と方法論の確認をしておく。(各60分以上)
	授業内容	研究目的の設定し、方法論の検討と先行研究の検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
5~12	事前学習	前回までの講義を踏まえ、研究計画を修正しておく。(各60分以上)
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認し、研究テーマの決定した後に、論文概要の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)

13～20	事前学習	必要な先行研究に関するレビューを完了しておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として、先行研究の読み方の指導と仮説の検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
21～30	事前学習	仮説に至る過程を中心に、報告の準備をしておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として仮説の書き方と設定の仕方を指導した後、2回目の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
31～34	事前学習	方法論に関する報告の準備をしておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として方法論の解説と検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
35～41	事前学習	必要な資料・データ等をすべてそろえ、内容を理解しておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として分析方法の解説及び考察を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
42～45	事前学習	一通り研究をすすめ、報告の準備をしておく。(各60分以上)
	授業内容	3回目の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
46～54	事前学習	分析等すべての研究過程を終えて、一先ず最終的な報告ができる状態にする。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として分析結果の検討及び分析結果の修正を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
55～58	事前学習	論文を書き上げ、内容のチェックを受けられる状態にしておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導として分析結果の修正及び論文の表記方法の確認と指導を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。(各60分以上)
59～60	事前学習	修正を完了し、論文を完成させておく。(各60分以上)
	授業内容	論文指導の総括として、完成した論文の研究発表と講評を行う。
	事後学習	指摘された点を修正する。論文を完成させる。(各60分以上)

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	中正樹	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-----	----	----	-----	---

授業概要	<p>学術論文の執筆に必要な研究の手続き、具体的には研究計画の立案、テーマの選定、資料の収集、先行研究のレビュー、仮説の構築、調査の実施、そしてデータの分析に至るまでの一連の作業について指導する。受講生は指導によって得られた知見をもとに修士論文に取り組み、その完成を目指す。</p>			
授業目的・到達目標	<p>授業目的：修士論文の執筆に必要な能力を修得する。 到達目標：ジャーナリズムを研究領域とする修士論文を執筆し、完成させる。 関連するDP・CP：1、2、3、4、5、6、7、8</p>			
履修条件	<p>大学院新聞学研究科の大学院生のうち、ジャーナリズムを研究領域として修士論文の執筆を目指す者。</p>			
授業方法	<p>修士論文執筆を目的としたディスカッションと研究報告を中心に進める。授業では、原則としてノートパソコンまたはタブレットを用いる。授業に関する告知や課題などの提出は、Google Classroomを用いる。</p>			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業への参加度、および修士論文の完成度で評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	<p>受講生の研究テーマによって、必要な研究文献を適宜指示する。</p>			
オフィスアワー	<p>月曜日12:10-13:00 研究室 (9号館5階9506研究室) ※事前にアポイントメントをとること (メールアドレス：naka.masaki@nihon-u.ac.jp)</p>			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分が研究したいテーマについて説明できるようにしておく(2時間)。
	授業内容	ガイダンス／導入講義 修士論文完成までのスケジュール、および受講者の研究テーマを確認する。
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める(2時間)。
2～4	事前学習	自分が研究したいテーマについて説明できるようにしておく(各回2時間)。
	授業内容	研究テーマおよび研究背景の検討
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める(各回2時間)。
5～12	事前学習	先行研究を収集、概観、検討する(各回2時間)。
	授業内容	先行研究の整理および方法論の検討
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める(各回2時間)。

13～20	事前学習	研究計画に基づき、修士論文執筆を進める（各回2時間）。
	授業内容	中間報告 先行研究の概観、研究目的、研究方法、仮説、今後の見通し等について報告する。
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める（各回2時間）。
21～30	事前学習	研究計画に基づき、研究データおよび研究資料を揃え、検討する（各回2時間）。
	授業内容	研究過程の報告 研究データのおよび研究資料の検討、分析結果について報告する。
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める（各回2時間）。
31～34	事前学習	研究データおよび研究資料をすべて揃え、精査する（各回2時間）。
	授業内容	分析結果の検討 研究データのおよび研究資料の検討、分析結果について報告する。
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める（各回2時間）。
35～41	事前学習	これまでの分析結果および考察について検討する（各回2時間）。
	授業内容	分析結果の考察
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める（各回2時間）。
42～45	事前学習	先行研究の概観、研究目的、研究方法、仮説、分析結果、考察について検討する（各回2時間）。
	授業内容	研究成果のまとめ 修士論文の草稿を完成させ、報告する。
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める（各回2時間）。
46～54	事前学習	中間報告で指摘された内容の修正に取り組む（各回2時間）。
	授業内容	論文指導 修士論文の内容を完成させ、報告する。
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める（各回2時間）。
55～58	事前学習	修士論文の提出に向け、論文を完成させる（各回2時間）。
	授業内容	論文指導 修士論文の書式を整え、完成度を高める。
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める（各回2時間）。
59～60	事前学習	完成した修士論文をもとに、口述試験に備える（各回2時間）。
	授業内容	論文指導
	事後学習	指導内容を踏まえ、問題点を整理し、研究を進める。最終審査に向けて修士論文の完成度を上げ、口述試験に備える（各回2時間）。

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	山口 仁	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	メディア・ジャーナリズム理論に関する研究論文(修士論文)の執筆に向けて、当該分野に関するテーマの設定、先行研究のレビュー、アプローチの設定、論文構成、各種発表などの事柄に関する指導を行っていく。受講生は自身の研究の進捗に応じて、報告、ディスカッションを行う。			
授業目的・到達目標	修士論文を完成させることがこの授業の目標である。なお『大学院新聞学研究科学位論文に係る評価に当たっての基準』には「提出された学位請求論文が、独創性、新奇性、論旨の一貫性、資料適切性などを含め、広く学界に裨益するものであること」とあることから、ここでいう「修士論文」とは「(若干の編集と修正をすることで)査読誌に掲載される内容の学術論文」のことであると担当者は考えている。 関連するDP・CP: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8			
履修条件	メディア・ジャーナリズム理論に関する基礎的素養を有していること。また担当教員の専門分野を踏まえ、理論研究主体の論文を執筆しようとする意思と意欲を有していること。			
授業方法	論文指導であることを踏まえ、演習形式で実施する。そして演習形式である以上、受講生には綿密な準備、充実した報告、議論へ積極的な参加が求められる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	適宜、平常点(報告準備、報告の質、議論への参加の積極性)で評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	Routledge	Theories of Journalism in a Digital Age	S. Steensen他
	2019	Routledge	The Handbook of Journalism Studies (2. ed)	K. Jørgensen他
	備考	S. バラン、D. デイビス著、宮崎寿子監訳(2007)『マス・コミュニケーション理論<上><下>』新曜社。 D. マクウェール著、大石裕監訳『マス・コミュニケーション研究』勁草義塾大学出版会。も参考のこと。		
参考書	M. Carlson and S. Lewis eds. (2015) Boundaries of JOURNALISM, Routledge. 山口仁 (2018) 『メディアがつくる現実、メディアをめぐる現実』勁草書房。			
オフィスアワー	火曜日・水曜日の昼休み。事前にメール等で連絡すること。			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	受講生は、自身がメディア・ジャーナリズム理論の系譜をどのように理解しているのか、その中でどこに注目した理論的研究を希望するのかについて熟考した上で、報告のための資料を作成すること。(30分以上)
	授業内容	当該研究指導の方針について解説する。受講生は自身の理論研究に関する問題関心を報告する(一人10分程度)。その上でディスカッションを行う。その後、理論的問題関心の確認し、理論研究に関する修士論文を執筆する意思確認も行う。
	事後学習	シラバス掲載の教科書・参教書、もしくは自身が読んできた関連文献(理論研究に関するもの)をもとに、当該分野の理論研究の系譜を把握し、自身の理論的テーマを確定させる。その後、次回の報告のためのレジュメと資料を作成する。並行して、サブノート・ファイルを作成する。(30分以上)
2~4	事前学習	報告に向けたレジュメ(5以上の参考文献に言及したもの)を作成し、報告に備えること。サブノート・ファイルを作成し、適宜、所定のサーバーにアップロードすること。(30分以上)
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う(一人15分以上)。その上でディスカッションと指導を行う。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで資料を修正し、研究を進めていく。次回の報告のためのレジュメと資料を作成する。並行して、サブノート・ファイルを作成する。(30分以上)
5~12	事前学習	報告に向けたレジュメ(10以上の参考文献に言及したもの)を作成し、報告に備えること。サブノート・ファイルを作成し、適宜、所定のサーバーにアップロードすること。(30分以上)
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う(一人15分以上)。その上でディスカッションと指導を行う。特にこの時期(7月前後)に実施される院生研究発表会に向けた指導を行っていく。想定される報告のレベルは「日本国内の関連する先行研究の網羅的把握と詳細テーマの設定ができること」である。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで資料を修正し、研究を進めていく。次回の報告のためのレジュメと資料を作成する。並行して、サブノート・ファイルを作成する。(30分以上)

13～20	事前学習	授業や院生研究発表会でのフィードバックを踏まえて、研究を進めていく。途中の夏季休暇も含め、報告に向けたレジュメ（20以上の参考文献に言及したもの）を作成すること。サブノート・ファイルを作成し、適宜、所定のサーバーにアップロードすること。（30分以上）
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う（一人30分以上）。その上でディスカッションと指導を行う。理論研究における独自の解釈を生み出すための道筋を探っていく。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで資料を修正し、研究を進めていく。次回の報告のためのレジュメと資料を作成する。並行して、サブノート・ファイルを作成する。（30分以上）
21～30	事前学習	報告に向けたレジュメ（20以上の参考文献に言及、そのうち10は厳選したもの）を作成し、報告に備えること。サブノート・ファイルを作成し、適宜、所定のサーバーにアップロードすること。（30分以上）
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う（一人20分以上）。特にこの時期（1月前後）に実施される院生研究発表会に向けた指導を行っていく。想定される報告のレベルは「詳細なテーマを設定し、それに基づいて海外関連研究の先行研究の把握と整理ができること」である。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで資料を修正し、研究を進めていく。次回の報告のためのレジュメと資料を作成する。並行して、サブノート・ファイルを作成する。論文草稿の執筆に向けた準備も行う。（30分以上）
31～34	事前学習	適宜、論文草稿（30以上の厳選した参考文献に言及、そのうち20は厳選したもの）を作成し、報告に備えること。論文草稿のファイルは所定のサーバーに随時アップロードすること。論文草稿は修士論文相当の分量であることが求められる。（30分以上）
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う（一人30分以上）。その上でディスカッションと指導を行う。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで草稿を修正し、研究を進めていく。次回の報告のためのレジュメと資料の作成。（30分以上）
35～41	事前学習	適宜、論文草稿を加筆・修正しつつ、報告に備えること。（30分以上）
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う（一人45分以上）。その上でディスカッションと指導を行う。特にこの時期（7月前後）に実施される院生研究発表会に向けた指導を行っていく。想定される報告のレベルは「先行研究に関する独自の考察ができること」である。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで草稿を修正し、研究を進めていく。次回の報告のためのレジュメと資料の作成。（30分以上）
42～45	事前学習	適宜、論文草稿の加筆・修正、関連資料を作成しつつ、報告に備えること。（30分以上）
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う（一人45分以上）。その上でディスカッションと指導を行う。特にこの時期（7月前後）に実施される院生研究発表会に向けた指導を行っていく。想定される報告のレベルは「先行研究に関する独自の考察ができること」である。研究の進捗状況に応じて、適宜、学外での発表（例えば学会のポスターセッション、個人報告）に向けた指導も行う。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで草稿、および発表資料を修正し、研究を進めていく。次回の報告のための関連資料の作成。（30分以上）
46～54	事前学習	適宜、論文草稿の加筆・修正、関連資料を作成しつつ、報告に備えること。（30分以上）
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う（授業時間内で柔軟な時間設定の下、報告することが求められる）。その上でディスカッションと指導を行う。また、学外での報告を行う場合はそれに向けた指導も行う。
	事後学習	ディスカッションと指導を反映したうえで草稿、および発表資料を修正し、研究を進めていく。次回の報告のための関連資料の作成。（30分以上）
55～58	事前学習	適宜、論文草稿の加筆・修正、関連資料を作成しつつ、報告に備えること。（30分以上）
	授業内容	受講生は自身の理論研究の進捗状況に関する報告を行う（授業時間内で柔軟な時間設定の下、報告することが求められる）。その上でディスカッションと指導を行う。事前審査報告会に向けた指導も行う。
	事後学習	論文の完成に向けた最終調整。（30分以上）
59～60	事前学習	修士論文の修正。（30分以上）
	授業内容	修士論文の完成に向けた指導。
	事後学習	論文の推敲・最終確認。（30分以上）

科目名	比較コミュニケーション政策論特殊講義	担当者	本多 周爾	期間	通年	単位数	4
-----	--------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	情報通信技術の発展に伴う情報化、世界的なレベルで相互依存関係の緊密化をもたらしているグローバル化という状況を踏まえ、国家、ならびに国際社会を取り巻くコミュニケーション環境に関わる問題について、比較研究の視点に立って分析、検討する。具体的には、国家・国民統合、開発と発展、国家間の情報流通に影響を及ぼすコミュニケーション政策、メディア政策、情報政策について理論的考察と事例研究を行う。						
授業目的・到達目標	コミュニケーション政策の諸問題に比較研究の視点からアプローチし、そこに横たわる課題を理論と実践の両面から考察し、解決の糸口を見つけ出すことができるようになることを目的とする。 国際コミュニケーション、政治コミュニケーション、開発コミュニケーションに関する専門知識を修得し、情報化とグローバル化という今日的状況において、コミュニケーション政策が、国家の統合と開発、ナショナル・アイデンティティやナショナリズム等に及ぼす影響、並びに南北間に横たわる情報流通の格差と不均衡、国際的な情報環境の変容等の問題について説明できるようになる。関連するDP・CP：新聞学研究所1、3						
履修条件	特になし						
授業方法	配布するレジメ・プリント、教科書、参考書に即して、講義形式と演習形式を交えて授業を進める。質疑応答、ディスカッションを通じて、授業内でフィードバックする。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	発表・報告と講読（70%）、ディスカッション（30%）				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	2017年	春風社	国際コミュニケーションの政治学			本多周爾	
	備考						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・本多周爾『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』春風社、2010年 ・本多周爾『発展と開発のコミュニケーション政策』武蔵野大学出版会、2007年 						
オフィスアワー	火曜日16:10～16:30授業講堂にて。なお、事前にメールでアポイントメントをとること honda.shujill@nihon-u.ac.jp (○→@に置換)						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	前期で講ずるテーマを念頭に、シラバスで教科書、参考書としてあげた文献に目を通しておくこと（2時間）
	授業内容	「授業をはじめにあたって」比較コミュニケーション政策論の授業の概要、テーマ、スケジュールと進め方、参考文献の紹介、研究の方法、成績評価等について説明する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
2	事前学習	第1回目の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと（2時間）
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論の視座」比較コミュニケーション政策論とは、コミュニケーション研究においてどのような位置づけにあるのか、どのような学問領域を構成しているのかについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
3	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと（2時間）
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論のテーマの設定」比較コミュニケーション政策論についての理論を修得するために、関連する研究テーマとしてどのようなものがあるのかを選定し、それらの研究上の有意性について検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）

4	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「コミュニケーション政策の分野と概要」 コミュニケーション政策の理論的視点を押さえる一方、日本、アメリカ、EU、ならびにいくつかの東南アジア諸国の実際のコミュニケーション政策の一部を分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
5	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「メディア政策、情報化政策の範囲と概要」 メディア政策、情報化政策について、政策の理論的視点を押さえる一方、日本、アメリカ、EUの実際のメディア政策、情報化政策について分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
6	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国家統合、国民統合の理論と過程」 国家を統合し、国民を形成する過程について論じている理論と研究について、現実の国家建設に照らして検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
7	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国家統合におけるコミュニケーションの機能」 西洋の歴史における国家統合においてコミュニケーションが果たしてきた役割を参照しつつ、新興国家における国家建設におけるコミュニケーションの機能について考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
8	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国民統合におけるメディアの役割」 西洋の国民統合において新聞等のマス・メディアが担ってきた役割を紹介しつつ、新興国家の国民形成におけるマス・メディアの役割は何かを検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
9	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国家統合、国民統合とコミュニケーション政策」 発展途上諸国が国家統合と国民形成にあたって、実施している実際のコミュニケーション政策をいくつかの事例を比較しながら検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
10	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発、発展の理論とパラダイム転換」 発展途上諸国が進める開発と発展に関する理論研究と、その思想的背景であるパラダイムについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
11	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発、発展におけるコミュニケーションの機能と役割」 発展途上国が開発と発展を進める中で、マス・メディア、コミュニケーションはどのような役割が課せられ、どのような機能を果たすと考えられるかを分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
12	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発コミュニケーションの理論とパラダイム転換」 発展途上諸国がコミュニケーションを活用した開発と発展を実施する、開発コミュニケーションについての理論とパラダイムが、大きく転換してきた過程と意味を考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
13	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発コミュニケーション政策の実践」 発展途上諸国が実際に試行している開発コミュニケーションの政策の事例を取り上げ、その実態を検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
14	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論の論点の分析、再検討」 国家統合、国民形成という視点からコミュニケーション政策の理論と実践を改めて比較研究という面から検討、考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)

15	事前学習	第1回から14回までに配布したレジメ・プリントに目を通し、それぞれのテーマ毎に提示したポイントと課題、ディスカッションのテーマについて整理しておくこと (2時間)
	授業内容	「前期講義の小括」 前期の授業において分析、検討、考察した比較コミュニケーション政策論において、浮上してきた課題を小括する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
16	事前学習	後期で取り上げるテーマについて、シラバスで教科書、参考書としてあげた文献に目を通してしておくこと (2時間)
	授業内容	「後期の授業をはじめににあたって」 後期の授業の概要、テーマ、スケジュールと進め方を説明し、参考文献を紹介する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
17	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「国際的な情報流通の不均衡、情報格差の是正に向けた政策」 南北間のコミュニケーションの流れの不均衡、情報格差の実態とその歴史的な背景と経済構造に焦点を当てて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
18	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「新世界情報コミュニケーション秩序の構築を求める動き」 南北間に横たわる情報とコミュニケーションの流れの不均衡を是正しようという動きと、それをめぐる先進諸国と発展途上諸国間の対立について考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
19	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「マス・メディア宣言以後の世界的な情報コミュニケーション秩序」 マス・メディア宣言によって新しい世界的な情報コミュニケーション秩序の構想が提示された経緯と、その後の国際的な情報環境の実情について分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
20	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「マス・メディア宣言によって新しい世界的な情報コミュニケーション秩序の構想が提示された経緯と、その後の国際的な情報環境の実情について分析する。」
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
21	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「グローバル化と情報化政策の課題」 不可避的、不可逆的なグローバル化という現象を前に、情報化政策によって情報化が進展することで生ずる問題点を発展途上諸国の開発に即して検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
22	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「情報化、グローバル化の開発コミュニケーション政策への影響」 現在進行している情報化とグローバル化は、発展途上諸国の開発とコミュニケーション政策にどのような影響をもたらしているかについて検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
23	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「東アジア、東南アジアにおける開発政治」 発展が著しい台湾、ならびにインドネシア、マレーシア、タイにおける開発政治のあり様と特徴について、比較検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
24	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「東アジア、東南アジアにおける開発コミュニケーション政策」 台湾、ならびにインドネシア、マレーシア、タイにおける開発コミュニケーション政策のあり様と特徴について、比較検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)
25	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと (2時間)
	授業内容	「台湾の発展と情報化政策」 経済発展を遂げ、先進国の仲間入りを果たそうとしている台湾について、その開発政治とそれを支える情報化政策について分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと (2時間)

26	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「インドネシアの開発コミュニケーション政策」 ASEANの盟主であるインドネシアの発展の基礎を築いたスハルト政権の開発政治とコミュニケーション政策、その後の動きについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
27	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「マレーシアの開発コミュニケーション政策」 「2020構想」を掲げて先進国入りを目指し、マレーシアの発展の基礎を築いたマハティール政権の開発政治とコミュニケーション政策、その後の動きについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
28	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマにつて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「タイの開発コミュニケーション政策」 経済発展が著しいタイについて、その開発政治とコミュニケーション政策の実情と課題について検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
29	事前学習	第16回から28回までに配布したレジメ・プリントに目を通し、それぞれのテーマ毎に提示したポイントと課題、ディスカッションのテーマについて整理しておくこと(2時間)
	授業内容	「後期講義の小括」 情報流通の不均衡と格差、情報化とグローバル化について整理する一方、これまで言及した諸国における開発コミュニケーション政策を比較検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと(2時間)
30	事前学習	前後期授業のレジメ・プリントに沿って、比較コミュニケーション政策論について概括し、そこから見えてくる研究課題を抽出しておくこと(2時間)
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論に残された研究課題と展望」 国家建設、国民統合、開発においてコミュニケーション政策が果たす役割を理論と事例研究に基づいて分析、再検討し、知見を得る一方、そこから見えてくる課題について考察する。
	事後学習	授業で議論した研究課題、研究テーマについて検討し、それらに対する自らの知見を整理すること(2時間)

科目名	文献研究(英)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムの古典的なテキストクリフォード・クリスチャンズ他のMedia Ethics第11版を読む。						
授業目的・到達目標	研究論文を正確に読み、使用されている概念等を把握する。 関連するDP・CP6。						
履修条件	特になし						
授業方法	輪読を中心にディスカッションも行う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	講義に臨む姿勢・積極性等を総合的に判断する。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	2020	Routledge	Media Ethics			Clifford G. Christians.	
	備考						
参考書	適宜に指示する。						
オフィスアワー	毎週月曜日昼休み あるいはメールにて予約 tsukamoto.seijiro@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの内容について理解しておく。(2時間)
	授業内容	テキストの概要を説明する。
	事後学習	テキストの概要を整理しておき、次回からの輪読に繋げる。(2時間)
2	事前学習	Introductionを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Introductionの輪読。
	事後学習	Introductionの内容の確認。(2時間)
3	事前学習	Institutional Pressuresを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Institutional Pressuresの輪読。
	事後学習	Institutional Pressuresの内容の確認。(2時間)

4	事前学習	Institutional Pressuresに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Institutional Pressuresに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
5	事前学習	Truthtellingを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Truthtellingの輪読。
	事後学習	Truthtellingの内容の確認。(2時間)
6	事前学習	Truthtellingに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Truthtellingに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
7	事前学習	Reporters and Sourcesを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Reporters and Sourcesの輪読。
	事後学習	Reporters and Sourcesの内容の確認。(2時間)
8	事前学習	Reporters and Sourcesに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Reporters and Sourcesに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
9	事前学習	Social justiceを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Social justiceの輪読。
	事後学習	Social justiceの内容の確認。(2時間)
10	事前学習	Social justiceに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Social justiceに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
11	事前学習	Privacyを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Privacyの輪読。
	事後学習	Privacyの内容の確認。(2時間)
12	事前学習	Privacyに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Privacyに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
13	事前学習	The Commercialization of Everyday Lifeを予習しておく。(2時間)
	授業内容	The Commercialization of Everyday Lifeの輪読。
	事後学習	The Commercialization of Everyday Lifeの内容の確認。(2時間)
14	事前学習	The Commercialization of Everyday Lifeに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	The Commercialization of Everyday Lifeに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
15	事前学習	The Media and Commercialを予習しておく。(2時間)
	授業内容	The Media and Commercialの輪読。
	事後学習	The Media and Commercialの内容の確認。(2時間)

16	事前学習	The Media and Commercialに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	The Media and Commercialに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
17	事前学習	Public communicationを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Public communicationの輪読。
	事後学習	Public communicationの内容の確認。(2時間)
18	事前学習	Public communicationに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Public communicationに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
19	事前学習	Conflicting Loyaltiesを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Conflicting Loyaltiesの輪読。
	事後学習	Conflicting Loyaltiesの内容の確認。(2時間)
20	事前学習	Conflicting Loyaltiesに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Conflicting Loyaltiesに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
21	事前学習	Violenceを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Violenceの輪読。
	事後学習	Violenceの内容の確認。(2時間)
22	事前学習	Violenceに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Violenceに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
23	事前学習	Profits, Wealth, and Public Trustを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Profits, Wealth, and Public Trustの輪読。
	事後学習	Profits, Wealth, and Public Trustの内容の確認。(2時間)
24	事前学習	Profits, Wealth, and Public Trustに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Profits, Wealth, and Public Trustに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
25	事前学習	Media Scope and Depthを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Media Scope and Depthの輪読。
	事後学習	Media Scope and Depthの内容の確認。(2時間)
26	事前学習	Media Scope and Depthに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Media Scope and Depthに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
27	事前学習	Censorshipを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Censorshipの輪読。
	事後学習	Censorshipの内容の確認。(2時間)

28	事前学習	Censorshipに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Censorshipに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
29	事前学習	第3回から第28回の内容のうちのどれかの発表準備を行う。(2時間)
	授業内容	第3回から第28回の内容の任意のものに関する発表とそれに関するコメント
	事後学習	他の人の発表内容と自身への質問及びコメントの内容を整理しておく。(2時間)
30	事前学習	すべての講義を通しての質問事項をまとめておく。(2時間)
	授業内容	総括と質疑応答。
	事後学習	他の人のものも含めて質疑応答の内容と総括の内容を理解しておく。(2時間)

科目名	文献研究(中)	担当者	石川 徳幸	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	中古中国語は東アジアの漢字文化圏を形成し、日本を含む周辺諸国の思想や文化に多大な影響を及ぼした。古来、日本では中国語の文章である漢文を、原文に則して日本語に翻訳する訓読という方法によって、中国語の文献を理解してきた。本講義では、基本的な漢文訓読法を修得して漢籍（前近代の古典籍）を読み下せるようになる技能を身につけるとともに、近代における漢文史料の解説を通して日中関係の知識と学問的態度を修得することを目的とする。			
授業目的・到達目標	前期においては、漢籍の解説を通して基本的な漢文訓読の語法を身につける。後期においては、前期に修得した技能を駆使して、近代における漢文史料の解説を行う。具体的には、中国語新聞『申報』の論説記事、雑誌『東洋』に掲載された漢文論説などを解説する。これらの文献研究を通して、漢文訓読の技能・近代日本における日中関係と中国語理解に関する知識・外国語文献に対する学問的態度を涵養する。 【関連するDP・CP：6】			
履修条件	中国語を第一外国語ないし第二外国語とする者（中国語を母国語とする者は、(日)(英)(独)(仏)いずれかの文献研究を履修すること）。			
授業方法	受講者は、事前に提示された課題を日本語に読み下し、その意味について歴史的背景を調べたうえで発表する。受講生同士と教員によるディスカッションを通じて、原文に対するより正確な理解に努める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	出席しての輪読・日訳、および議論参与を評価対象とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	三省堂	全訳漢辞海 第四版	戸川芳郎ほか
	備考	上記のもの以外でも構わないが中型以上の漢和辞典を用意すること。		
参考書	古田島洋介ほか（2011）『漢文訓読入門』明治書院 古田島洋介（2013）『日本近代史を学ぶための文語文入門：漢文訓読体の地平』吉川弘文館			
オフィスアワー	【2024年度オフィスアワー】授業実施期間中の月曜日12:15～12:45 【アポイント等・問い合わせ方法】 https://sites.google.com/seminar.ishikawa.jp/lab/contact （研究室HPメールフォーム）※会議などの校務があるときは研究室不在となるため事前予約を取ることが望ましい。また、同時刻に訪問者が重なった場合は、予約を入れている者を優先する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、「授業目的・到達目標」を把握しておくこと。
	授業内容	初回ガイダンス：授業の進め方、予習復習の仕方について
	事後学習	ガイダンスの内容に即して学習計画を立て、課題に取り組む。
2	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法の基礎①
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
3	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法の基礎②
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】

4	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法の基礎③
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
5	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 助動詞①
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
6	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 助動詞②
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
7	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 副詞①
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
8	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 副詞②
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
9	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 前置詞①
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
10	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 前置詞②
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
11	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 接続詞
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
12	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 動詞
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
13	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 助詞
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
14	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 名詞・代名詞
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
15	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢文法 品詞の活用
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】

16	事前学習	シラバスに目を通し、「授業目的・到達目標」を把握しておくこと。 前期の復習。
	授業内容	後期ガイダンス：授業の進め方、予習復習の仕方について
	事後学習	ガイダンスの内容に即して学習計画を立て、課題に取り組む。
17	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	雑誌『東洋』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
18	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	雑誌『東洋』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
19	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	雑誌『東洋』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
20	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	雑誌『東洋』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
21	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	雑誌『東洋』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
22	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	新聞『申報』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
23	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	新聞『申報』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
24	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	新聞『申報』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
25	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	新聞『申報』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
26	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	新聞『申報』解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
27	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢詩による時事評論『評林』の解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】

28	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢詩による時事評論『評林』の解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
29	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢詩による時事評論『評林』の解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】
30	事前学習	課題を読み下し、日本語訳に直す。【120分】
	授業内容	漢詩による時事評論『評林』の解説
	事後学習	講義内容をノートに整理し、理解を深める。【60分】

科目名	文献研究(独)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	ユルゲン・ハーバーマスのStrukturwandel der Öffentlichkeitを読む。			
授業目的・到達目標	研究論文を正確に読み、使用されている概念等を把握する。 関連するDP・CP6。			
履修条件	特になし			
授業方法	輪読を中心にディスカッションも行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	講義に臨む姿勢・積極性等を総合的に判断する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1990	Suhrkamp	Strukturwandel der Öffentlichkeit	Jürgen Habermas
	備考			
参考書	適宜に指示する。			
オフィスアワー	毎週月曜日昼休み あるいはメールにて予約 tsukamoto.seijiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	テキストの内容について理解しておく。(2時間)
	授業内容	テキストの概要を説明する。
	事後学習	テキストの概要を整理しておき、次回からの輪読に繋げる。(2時間)
2	事前学習	Vorwort zur ersten Auflageを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Vorwort zur ersten Auflageの輪読。
	事後学習	Vorwort zur ersten Auflageの内容の確認。(2時間)
3	事前学習	第1節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第1節の輪読。
	事後学習	第1節の内容の確認。(2時間)

4	事前学習	第1節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第1節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
5	事前学習	第2節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第2節の輪読。
	事後学習	第2節の内容の確認。(2時間)
6	事前学習	第2節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第2節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
7	事前学習	第3節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第3節の輪読。
	事後学習	第3節の内容の確認。(2時間)
8	事前学習	第3節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第3節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
9	事前学習	第4節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第4節の輪読。
	事後学習	第4節の内容の確認。(2時間)
10	事前学習	第4節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第4節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
11	事前学習	第5節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第5節の輪読。
	事後学習	第5節の内容の確認。(2時間)
12	事前学習	第5節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第5節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
13	事前学習	第6節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第6節の輪読。
	事後学習	第6節の内容の確認。(2時間)
14	事前学習	第6節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第6節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
15	事前学習	第7節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第7節の輪読。
	事後学習	第7節の内容の確認。(2時間)

16	事前学習	第7節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第7節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
17	事前学習	第8節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第8節の輪読。
	事後学習	第8節の内容の確認。(2時間)
18	事前学習	第8節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第8節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
19	事前学習	第9節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第9節の輪読。
	事後学習	第9節の内容の確認。(2時間)
20	事前学習	第9節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第9節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
21	事前学習	第10節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第10節の輪読。
	事後学習	第10節の内容の確認。(2時間)
22	事前学習	第10節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第10節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
23	事前学習	第11節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第11節の輪読。
	事後学習	第11節の内容の確認。(2時間)
24	事前学習	第11節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第11節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
25	事前学習	第12節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第12節の輪読。
	事後学習	第12節の内容の確認。(2時間)
26	事前学習	第12節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第12節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
27	事前学習	第13節を予習しておく。(2時間)
	授業内容	第13節の輪読。
	事後学習	第13節の内容の確認。(2時間)

28	事前学習	第13節に関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	第13節に関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
29	事前学習	第3回から第28回の内容のうちのどれかの発表準備を行う。(2時間)
	授業内容	第3回から第28回の内容の任意のものに関する発表とそれに関するコメント
	事後学習	他の人の発表内容と自身への質問及びコメントの内容を整理しておく。(2時間)
30	事前学習	すべての講義を通しての質問事項をまとめておく。(2時間)
	授業内容	総括と質疑応答。
	事後学習	他の人のものも含めて質疑応答の内容と総括の内容を理解しておく。(2時間)

科目名	文献研究(日)	担当者	佐幸 信介	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディア研究の基本文献のテキスト・クリティークをとおして、メディア研究の基本的知識、認識、方法論を学ぶ			
授業目的・到達目標	メディア研究にとって複数の基本的な文献を、的確に読み、まとめ、議論に生かす力を習得することが目的である。その成果を、レポートとしてまとめる。 関連するDP・CP6			
履修条件	特になし			
授業方法	テキスト読解、レジюме作成、報告、ディスカッションの形式で行う			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回のレジюме作成、報告は必須。最終的に、授業内レポートを課す	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2009	書籍工房早山	定本 想像の共同体	ベネディクト・アンダーソン
	2020	ミネルヴァ書房	テレビジョン	レイモンド・ウィリアムズ
	備考			
参考書	その他、講義内で適宜紹介する			
オフィスアワー	メールにて連絡すること sako.shinsuke@nihon-u.ac.jp (○→@に置換)			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと (1時間)
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回目のテキストを精読しておくこと (2時間)
2	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する (3時間)
	授業内容	『想像の共同体』序章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること (2時間)
3	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する (3時間)
	授業内容	『想像の共同体』第1章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること (2時間)

4	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第2章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
5	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第3章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
6	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第4章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
7	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第5章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
8	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第6章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
9	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第7章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
10	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第8章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
11	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第9章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
12	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第10章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
13	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第11章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
14	事前学習	レポートを作成する（3時間）
	授業内容	レポートの報告と合評
	事後学習	合評を受けて、レポートを再検討する
15	事前学習	第1回～14回を振り返り、復習する（2時間）
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	全体の復習（2時間）

16	事前学習	前期を振り返り、かつ後期のシラバスを読んでおくこと（1時間）
	授業内容	後期ガイダンス
	事後学習	テキストを精読しておくこと
17	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第1章・読解と報告
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
18	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第1章・ディスカッション
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
19	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第2章・読解と報告
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
20	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第2章・ディスカッション
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
21	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第3章・読解と報告
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
22	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第3章・ディスカッション
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
23	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第4章・読解と報告
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
24	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第4章・ディスカッション
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
25	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第5章・読解と報告
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
26	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第5章・ディスカッション
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
27	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第6章・読解と報告
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）

28	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	ウィリアムズ『テレビジョン』第6章・ディスカッション
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
29	事前学習	レポートを作成する（3時間）
	授業内容	レポートの報告と合評
	事後学習	合評を受けて、レポートを再検討する
30	事前学習	第16回～29回を振り返り、復習する（2時間）
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	全体の復習（2時間）

科目名	文献研究(日)	担当者	米倉 律	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムおよび社会学の研究を進めていくうえで基本となる文献（書籍、論文）を購読し、研究に必要な専門的知識を身に付けるとともに方法論についても習得する。			
授業目的・到達目標	日本語でジャーナリズムおよび社会学の関連文献と論文を購読する。専門文献を読み解くことで、日本語に馴染むだけでなく社会科学における日本語表現を身に付ける。 関連するDP・CP6			
履修条件	特に無いが、日常的に日本語の文献を読むこと。読んだものを纏めることが常に求められる。			
授業方法	日本語文献（書籍、論文）を輪読し、内容を報告する。さらにその内容に関するレポートを提出し、討論をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	ふだんの発表、討議への参加度など	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006	勁草書房	ジャーナリズムとメディア言説	大石裕
	2020	東京大学出版会	日本のテレビ・ドキュメンタリー	丹羽美之
	備考			
参考書	上記文献に関連する参考文献を適宜、指示する			
オフィスアワー	水曜日昼休み。研究室は本館1719号室。メールで事前予約を取って欲しい。 メールアドレス：yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を読んでおく（30分以上）
	授業内容	前期全体のガイダンス、およびイントロダクション
	事後学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
2	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	拡大する政治とジャーナリズム①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
3	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	拡大する政治とジャーナリズム②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）

4	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	日本のジャーナリズム論の現代的課題①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
5	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	日本のジャーナリズム論の現代的課題②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
6	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	客観報道とニュース・バリュー①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
7	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	客観報道とニュース・バリュー②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
8	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	アジェンダ設定と「社会的現実」の構築①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
9	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	アジェンダ設定と「社会的現実」の構築②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
10	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	ニュースの言説分析①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
11	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	ニュースの言説分析②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
12	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	集合的記憶とマス・メディア①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
13	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	集合的記憶とマス・メディア②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
14	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	メディア・イベントの政治学①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
15	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	メディア・イベントの政治学②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）

16	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	後期へのイントロダクション
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
17	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	テレビ・アーカイブへの扉を開く①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
18	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	テレビ・アーカイブへの扉を開く②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
19	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	記録映画との決別①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
20	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	記録映画との決別②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
21	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	牛山純一と『ノンフィクション劇場』①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
22	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	牛山純一と『ノンフィクション劇場』②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
23	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	萩元晴彦・村木良彦と『あなたは』①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
24	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	萩元晴彦・村木良彦と『あなたは』②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
25	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	田原総一郎と『ドキュメンタリー劇場』①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
26	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	田原総一郎と『ドキュメンタリー劇場』②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
27	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	木村宋文と『あいらぶ優ちゃん』
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）

28	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	磯野恭子と『NNNドキュメント』
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
29	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	是枝裕和と『NONFIX』
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
30	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	震災ドキュメンタリー論
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）

科目名	文献研究(仏)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディア研究、ジャーナリズム研究に関するフランス語文献を講読し、それを日本語として理解する。			
授業目的・到達目標	フランス語でメディア研究、ジャーナリズム研究および社会学の関連文献と論文を講読する。フランス語の専門文献を読み解き、日本語に翻訳することを通して、日本語表現を身に付けることにもなる。 フランス語の学術文献を日本語に翻訳できるようになる。 関連するDP・CP新聞学研究科DP・CP6			
履修条件	とくになし。			
授業方法	フランス語文献（論文、著書）を輪読し、内容を報告する。さらにその内容に関するレポートを提出し、討論をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業時での発表および課題レポートの成果。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	受講生のフランス語能力に合わせて、オンライン上の無料フランス語学術文献を選択する。		
参考書	受講生のフランス語能力に合わせて、授業時に適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜日6限を基本とするが、メールにて確認を。kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。(30分)
	授業内容	ガイダンス この授業について、授業計画など フランス語能力の確認、フランス語文献について
	事後学習	授業時に指示されたアドレスで、複数のフランス語文献の概略を確認する。(60分)
2	事前学習	指示されたフランス語文献をのアブストラクトを確認する。(60分)
	授業内容	文献の選択 テキストとして使用するフランス語文献の選択
	事後学習	フランス語文献をダウンロードし、内容全体を確認しておく。(60分)
3	事前学習	テキストの当日使用部分を日本語に翻訳し、質問や議論のテーマを整理しておく。(60分)
	授業内容	フランス語文献講読 日本語翻訳と議論
	事後学習	当日部分の日本語訳の問題点を復習し、内容を理解する。(120分)

28	事前学習	テキストの当日使用部分を日本語に翻訳し、質問や議論のテーマを整理しておく。(60分)
	授業内容	フランス語文献講読 日本語翻訳と議論
	事後学習	当日部分の日本語訳の問題点を復習し、内容を理解する。(120分)
29	事前学習	テキストの当日使用部分を日本語に翻訳し、質問や議論のテーマを整理しておく。(60分)
	授業内容	フランス語文献講読 日本語翻訳と議論
	事後学習	当日部分の日本語訳の問題点を復習し、内容を理解する。(120分)
30	事前学習	使用テキスト全体の翻訳をまとめる(120分)
	授業内容	まとめと課題提示
	事後学習	テキストの翻訳部分をまとめ、内容の議論をレポートとして作成する。(180分)

科目名	メディア社会論特殊講義	担当者	佐幸 信介	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディア研究をグローバル化や資本主義のモードとの関連に位置づけ、テキスト・クリティークを通して現在のメディア状況の分析を行う 生命の情報化に関する議論を通して、現在のICTの社会的な分析を検討する			
授業目的・到達目標	学術的に書かれた論文を読み、メディア環境を理解すること。さらに論文の構成（目的・方法・分析等）そのものを理解すること。関連するDP・CP1			
履修条件	特に定めないが、難しめの論文を読むため、メディア研究に関する基本的な知識を持っていることが望ましい			
授業方法	講義と教科書（テキスト）のレジュメ作成・発表・ディスカッションをひとつのユニットで構成して進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平常のレジュメ作成や授業の参加度に応じて評価する	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2019	東京大学出版会	コミュニケーション資本主義と〈コモン〉の探求	伊藤守編著
	2014	法政大学出版局	生そのものの政治学	ニコラス・ローズ
	備考			
参考書	適宜、提示する			
オフィスアワー	水曜日・昼休み 研究室 sako.shinsuke@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスの確認と教科書の内容を概観してくること（2時間）
	授業内容	ガイダンス（講義のスケジュール、発表担当の決定など）
	事後学習	ガイダンスをふまえ、あらためて教科書を読む（2時間）
2	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	デジタルメディア環境の生態系と言説空間の変容（第1章）の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
3	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	デジタルメディア環境の生態系と言説空間の変容（第1章）のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）

4	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	コミュニケーション資本主義における個人と集団の変容（第2章）の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
5	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	コミュニケーション資本主義における個人と集団の変容（第2章）のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
6	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	ソーシャルメディアはポピュリズムの夢を見るか？—コミュニケーション資本主義の条件（第3章）の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
7	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	ネットワークメディア時代における政治的公共圏の変容（第4章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
8	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第3章と第4章をめぐるディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
9	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	生かさなない“生-政治”の誕生の再考（第5章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
10	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	スマートシティと生政治—パブリック-プライベートの産業からコミユナルな統治へむけて（第6章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
11	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第5章と第6章をめぐるディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
12	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	生資本主義時代の生と芸術（第7章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
13	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	デジタルメディア時代のジェンダーカ学—韓国のインターネット空間における「女性」（第8章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
14	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	資本主義リアリズムからアシッド共産主義へ（第9章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
15	事前学習	第14回までの講義内容をふりかえること（2時間）
	授業内容	前学期講義全体のまとめ
	事後学習	前学期講義全体をふりかえり、自分なりの見解をまとめること（2時間）

16	事前学習	シラバスの確認と教科書の内容を概観してくること（2時間）
	授業内容	ガイダンス（講義のスケジュール、発表担当の決定など）
	事後学習	ガイダンスをふまえ、あらためて教科書を読む（2時間）
17	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	日本語版への序文、謝辞、序章の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
18	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第1章「二十一世紀における生政治」の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
19	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第1章「二十一世紀における生政治」のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
20	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第2章「政治と生」の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
21	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第2章「政治と生」のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
22	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第3章「現れつつある生のかたち」の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
23	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第3章「現れつつある生のかたち」のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
24	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第4章「遺伝学的リスク」の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
25	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第4章「遺伝学的リスク」のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
26	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第5章「生物学的市民」の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
27	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第5章「生物学的市民」のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）

28	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第6章「ゲノム医学の時代における人種」の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
29	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第6章「ゲノム医学の時代における人種」のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
30	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	第8章「コントロールの生物学」のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）

科目名	メディア調査演習 I	担当者	中正樹	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズム調査における基本的な考え方や方法論を、演習形式で学ぶ。本演習において調査対象になるのは、放送ジャーナリズムが提供するテキスト形式のニュース・コンテンツである。			
授業目的・到達目標	本授業の目的は、放送ジャーナリズムが提供するニュース・コンテンツに関する実証研究を通じて、実証研究の意義と意味、そして有効性を理解することである。そのために、ニュース・コンテンツに対する内容分析と考察、及びそれらを説明できる能力を習得することを目標とする。 関連するDP・CP：4・5・7			
履修条件	ノートパソコン、またはタブレットを用いて受講可能な環境を用意できること。			
授業方法	調査方法に対する講義とディスカッション、実際の作業を中心に進める。授業では資料は配布しない。事前に、Google Classroomを通じて配布する。受講生は、資料を授業前に読み込んでおく。また、受講生による発表は、ノートパソコンまたはタブレットを使用する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業への参加度で判断する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	特になし。			
オフィスアワー	月曜日12:10-13:00 研究室 (9号館5階9506研究室) ※事前にアポイントメントをとること (メールアドレス:naka.masaki@nihon-u.ac.jp)			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを読んでおく (2時間)。
	授業内容	ガイダンス／導入講義 授業の内容、進め方について確認する。
	事後学習	ガイダンスの内容について十分に理解する (2時間)。
2	事前学習	放送ジャーナリズムが提供するニュースの意義と意味について考えをまとめておく (2時間)。
	授業内容	ニュースとは何か 放送ジャーナリズムが提供する記事の意義と意味についてディスカッションする。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める (2時間)。
3	事前学習	調査対象とするイベントをピックアップし、その概要を説明できるように準備する (2時間)。
	授業内容	調査テーマの検討 (1) 調査対象とするイベントについて検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める (2時間)。

4	事前学習	調査対象とするイベントをピックアップし、その概要を説明できるように準備する（2時間）。
	授業内容	調査テーマの検討（2） 調査対象とするイベントについて検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
5	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（2時間）。
	授業内容	先行研究の検討（1） 調査において参考となる先行研究について検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
6	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（2時間）。
	授業内容	先行研究の検討（2） 調査において参考となる先行研究について検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
7	事前学習	先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を立案する（2時間）。
	授業内容	<調査計画の報告> 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
8	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った放送ジャーナリズムが提供するニュースを収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	調査計画の報告（1） 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
9	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った新聞ジャーナリズムが提供するニュースを収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	調査計画の報告（2） 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
10	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った放送ジャーナリズムが提供するニュースを収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	内容分析（1） 収集した放送ジャーナリズムが提供するニュースを内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
11	事前学習	調査対象とするイベントを取り扱った放送ジャーナリズムが提供するニュースを収集し、報告する準備をする（2時間）。
	授業内容	内容分析（2） 収集した放送ジャーナリズムが提供するニュースを内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（2時間）。
12	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（2時間）。
	授業内容	プレゼンテーション（1） 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、放送ジャーナリズムに対する理解を深める（2時間）。
13	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（2時間）。
	授業内容	プレゼンテーション（2） 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、放送ジャーナリズムに対する理解を深める（2時間）。
14	事前学習	すべての調査結果を取りまとめ、調査報告書を作成する。（2時間）。
	授業内容	調査報告書の検討（1） 調査の概要およびその結果をまとめた調査報告書を提出してもらい、その内容について意見を交換する。
	事後学習	調査報告書に対する意見交換を通じて得た知見をもとに、ジャーナリズム調査に対する理解を深める（2時間）。
15	事前学習	すべての調査結果を取りまとめ、調査報告書を作成する。（2時間）。
	授業内容	調査報告書の検討（2） 調査の概要およびその結果をまとめた調査報告書を提出してもらい、その内容について意見を交換する。
	事後学習	調査報告書に対する意見交換を通じて得た知見をもとに、ジャーナリズム調査に対する理解を深める（2時間）。

科目名	メディア調査演習Ⅲ	担当者	柴田 秀一	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は、放送局のインターンシップを授業で具体化するもので、テレビ番組の制作の現場等の見学や実際の放送番組を通じて、テレビ放送、とりわけ報道や情報番組の抱える問題点を明らかにするとともに、今後のテレビ放送の課題を明らかにする。			
授業目的・到達目標	テレビ制作の現場におけるさまざまな問題点を整理しながら、テレビ・メディアの問題点を探ることができる人材養成を目的とする。マス・メディアへの就職や研究者等を目指す受講者へ、テレビ・ラジオ等放送業の基本的な構造と問題点並びに広く社会環境やメディアに影響を与えている関連法制や関連政策などに関する知識の蓄積や能力の育成を通し、批判思考力や倫理観を涵養することを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科4, 5, 7			
履修条件	一年次生対象			
授業方法	講義と受講生との討論、レポート発表、放送局見学等で放送の実際を知る。番組制作等のゲスト招聘可能性も。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業態度、授業内レポート提出、番組企画書の発表などを総合して評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	必要に応じて適宜指示する。			
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	ニュース・情報・ドラマスポーツ・バラエティー等様々なテレビ番組を見ておく。(2時間) どんな番組に興味を持ち、どんなテレビ番組が放送されたら見たいと思うか、あらかじめ考えておく。
	授業内容	オリエンテーション 番組企画書の説明及び発表日程の指示
	事後学習	番組企画書の詩が書きを書いてみる。(2時間)
2	事前学習	「ビデオリサーチ社」のホームページにアクセスして、視聴率について調べておく。(2時間)
	授業内容	テレビの抱える問題①：視聴率 視聴率とは、調査方法、調査会社、視聴率日報、番組制作と視聴率と営業・CM 何故1%にこだわるか
	事後学習	「ビデオリサーチ社」のホームページでタイムシフト視聴の具体的な数字を見てみる。各放送局のホームページを見比べてみる。(2時間)
3	事前学習	テレビCMを見る。どんな番組にどんなCM流れているか。どの時間帯にどんな商品・企業のCMが流れているか比較して みる。(2時間)
	授業内容	テレビの抱える問題②：収入と支出、CMと営業 時間を売るとは何か。
	事後学習	スポンサーと番組との組み合わせについて考えてみる。(2時間)

4	事前学習	各局のホームページから、番組表を見る。一週間の時間帯別の番組表で生活時間と番組の関係を考える。(2時間)
	授業内容	テレビ番組の制作①：編成とは何か・ニュース・情報番組・バラエティー番組・スポーツ番組等について
	事後学習	自分の興味のある番組は、どんな時間帯にどのような形で放送されているか知る。また、何故そうなっているかを考える。(2時間)
5	事前学習	興味のある番組の構成を考える。喋り中心か、それともビデオ構成か、生放送か、録画か。何故そうなっているかを考える。(2時間)
	授業内容	テレビ番組の制作②：企画と企画書制作 番組制作の端緒は何か
	事後学習	自分が良く見る番組は何故面白いのか考える。番組構成は、出演者は、スタジオセットは。番組を通して何が求められているか。(2時間)
6	事前学習	定時ニュースを何日か続けてみておく。「ストレートニュース」と言われる情報番組内、あるいは独立枠でコメント等をさしはさまない形式でそれまで起きたニュースを何項目か続けて放送するものだが、その項目構成を見ておく。(2時間)
	授業内容	テレビ番組の制作③：ニュース番組が出来るまで ニュースは何処から情報を取りどのように放送するか。
	事後学習	各放送局の昼、夕方のニュースを見比べてみて、同じニュースも項目順が違っていたり、会見やインタビュー、「ぶら下がり」と呼ばれる議員や著名人の政務、仕事の合間に立ち話形式の質疑応答も使われる場所が変わったりすることを知る。(2時間)
7	事前学習	各放送局のニュースサイト(ホームページからアクセス)で原稿内容と映像内容を比較してみる。どんな違いがあるか。(2時間)
	授業内容	テレビ番組の制作④：ニュース取材の手法 実例に基づく取材手法
	事後学習	取材で注意すべきことは何か、取材は何の菜目にするか、もう一度まとめてみる。(2時間)
8	事前学習	メディアスクラムとは何か。どんな例があったか調べてみる。(2時間)
	授業内容	テレビの抱える問題③：報道倫理 名誉毀損、メディアスクラムは何故おこるか
	事後学習	世の中の関心事にメディアスクラムは起こるが、そうならない為には何が必要かここに考えてみる。(2時間)
9	事前学習	BPOについて調べておく(2時間)
	授業内容	テレビの抱える問題④：BPOと放送倫理 放送されることが増えたBPOとは何か
	事後学習	テレビ番組を見て、その番組に倫理的問題点があるとすれば何か考える。(2時間)
10	事前学習	テレビ番組の作られ方放送のされ方について調べてみる。(2時間)
	授業内容	テレビ番組の制作⑤：TV局現場の見学
	事後学習	見学結果を踏まえて、入ったスタジオでの放送番組をテレビ番組として見てみる。(2時間)
11	事前学習	放送収入と放送外収入について調べる。(2時間)
	授業内容	テレビ局の放送外事業とWeb、携帯電話やインターネット事業等、 Webとテレビの関係(放送マーケティングの現場)
	事後学習	実際に放送局が開催しているイベントに行ってみる。(2時間)
12	事前学習	NHKの組織と収入源を調べる。(2時間)
	授業内容	NHKと民間放送 受信料の徴収とCM料収入の資金調達手法の違いとそれぞれが抱える問題。
	事後学習	改めて民間放送とNHKの収入について手法の違いと求められる事を考えてみる。(2時間)
13	事前学習	AbemaTV、NETFLIX、Paravi、GYAO などの番組ラインナップや番組を見てみる。(2時間)
	授業内容	ペイテレビ、動画配信事業とテレビ、テレビのニュービジネス
	事後学習	同一会社が有料放送と地上デジタル無料放送をしている二面性について考えてみる。(2時間)
14	事前学習	これまで、研究してきたテレビの内情と自らの興味から、新しい番組について企画書を書く。(2時間)
	授業内容	テレビ番組の企画②：報告とディスカッション 課題の企画書発表 今伝えるべきレポートとパフォーマンス
	事後学習	発表について、評価や注意を受けた部分を手直し(2時間)
15	事前学習	これまでの講座でのやり取りを振り返る。(2時間)
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	自分の企画書と放送されている実際の番組とを比べてみる。(2時間)

科目名	メディア法制特殊講義	担当者	笹田 佳宏	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、日本におけるメディア活動と各種法律の関係を考察する。特に、表現の自由の確保、権力との関係などに注目し、判例や学説を踏まえながら学修する。						
授業目的・到達目標	現代のマスメディアが抱える法的な諸課題を考察する力を身につけるために、各法律がマスメディアの報道活動に与えている影響を修得する。 関連するDP・CP新聞学研究科1、3						
履修条件	特にないが、教科書の当該箇所や指定された参考文献などを事前に読み、毎回、発表レポートを作成すること。						
授業方法	対面で授業を行う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	提出レポート、報告内容、授業への参加度によって評価する。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	2021年	勁草書房	法とジャーナリズム (第4版)			山田健太	
	備考	適宜、プリント等を配付する。					
参考書	マス・メディア法入門 (第5版) 日本評論社、松井茂記						
オフィスアワー	月曜日の12:10~13:00(事前にメールでアポイントメントを取ること) 研究室(本館9階1913) メールアドレス:sasada.yoshihiro@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	教科書のテーマの中で興味をもった箇所を読む。(2時間)
	授業内容	ガイダンス (全体のテーマおよび授業の進め方の説明)
	事後学習	ガイダンスを受けて、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。(2時間)
2	事前学習	電通ホームページ内の「2022年 日本の広告費」を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	日本のマスメディアの現状
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)
3	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	新聞業界
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)

4	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	放送業界 I
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)
5	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	放送業界 II
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)
6	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	出版業界
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)
7	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	インターネット
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)
8	事前学習	教科書の「民主主義社会と表現の自由 表現の自由と意義」を読み、発表レポートを作成する。(2時間)
	授業内容	民主主義社会と表現の自由 I
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。(2時間)
9	事前学習	教科書の「民主主義社会と表現の自由 民主主義と言論、表現の自由と国家観」を読み、発表レポートを作成する。(2時間)
	授業内容	民主主義社会と表現の自由 II
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。(2時間)
10	事前学習	教科書の「検閲の禁止と表現規制類型 表現の自由の歴史、日本における表現の自由と検閲」を読み、発表レポートを作成する。(2時間)
	授業内容	検閲の禁止
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。(2時間)
11	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。(2時間)
	授業内容	知る権利
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。(2時間)
12	事前学習	教科書の「取材・報道の自由と報道定義」を読み、発表レポートを作成する。(2時間)
	授業内容	取材・報道の自由と報道定義
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。(2時間)
13	事前学習	教科書の「プレスの公共性と特恵的待遇」を読み、発表レポートを作成する。(2時間)
	授業内容	プレスの公共性と特恵的待遇
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。(2時間)
14	事前学習	教科書の「立法・司法へのアクセス 司法情報へのアクセス、裁判員裁判と取材・報道」を読み、発表レポートを作成する。(2時間)
	授業内容	司法情報へのアクセス
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。(2時間)
15	事前学習	配布資料、教科書を用いて振り返り(2時間)
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	前期の授業内容についてノート、その他でまとめる。

16	事前学習	教科書の「立法・司法へのアクセス 立法へのアクセス」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	立法へのアクセス
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
17	事前学習	教科書の「放送の自由と放送政策 放送事業の自由と規律」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	放送の自由と放送政策Ⅰ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
18	事前学習	教科書の「放送の自由と放送政策 放送番組の自由と規律」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	放送の自由と放送政策Ⅱ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
19	事前学習	教科書の「放送の自由と放送政策 公共放送と商業放送」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	放送の自由と放送政策Ⅲ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
20	事前学習	教科書の「選挙と表現の自由」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	選挙と表現の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
21	事前学習	教科書の「政治をめぐる表現の自由 憲法改正と意見の表明」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	国民投票法
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
22	事前学習	教科書の「名誉毀損と批判の自由」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	名誉毀損と批判の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
23	事前学習	教科書の「プライバシー侵害」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	プライバシー侵害
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
24	事前学習	教科書の「猥褻・性差別表現」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	猥褻・性差別表現
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
25	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	児童ポルノ規制
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
26	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	少年法61条と報道の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
27	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	ヘイト・スピーチと表現の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）

28	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	青少年と情報の取り扱い
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
29	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	個人情報保護
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
30	事前学習	一年間の授業の内容についてノート、資料等を用いて振り返り（2時間）
	授業内容	年間総括
	事後学習	総括を受けて、日本のメディア法制の特徴を整理し、まとめる。

科目名	メディア倫理特殊講義	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は情報発信者のための倫理学を学ぶ講義である。日本ではメディア関係の倫理学の場合に、法で規制しきれない部分を補うためのもののように倫理学を扱う。それがどれだけ間違っただけであるか明確にするのが本講義の主な内容である。つまり自身の行為に関する法を守ることと、倫理的な行為を行う事の相違について講義する。						
授業目的・到達目標	本講義は、広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策などに関する諸問題に対する、ジャーナリスト等の情報発信者として必要な高度な倫理観を育むことを目的とする。それゆえ、広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策を批判的に捉える、ジャーナリスト等の情報発信者として必要な高度な倫理観を育むことを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科1, 3						
履修条件	大学院の講義である以上、学部レベルの基礎知識があることは大前提である。						
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて、レポート提出を求める。レポートの書き方は、予め指導する。提出されたレポートに関する講評は、講義内で行うとともに、希望者には、個人指導の時間を設ける。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験	0%					
	平常評価	100%	準備学習の程度50%、授業時に行う議論の内容等50%。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	2021	日本評論社	ジャーナリズムの規範理論			塚本晴二郎	
	備考						
参考書	受講者の関心に応じて、柔軟に対応していくので、適宜に指示する。						
オフィスアワー	毎週月曜日昼休み あるいはメールにて予約 tsukamoto.seijiro@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認するとともに、学部での「ジャーナリズム倫理」等の科目の内容を把握しておく。(2時間)
	授業内容	講義のテーマや内容、講義スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて、講義の進め方を説明し、受講生が講義の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。(2時間)
2	事前学習	テキストの第1章の1を読み、専門職教育とジャーナリズム倫理学について考察する。(2時間)
	授業内容	専門職教育とジャーナリズム倫理学について解説する。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
3	事前学習	テキストの第1章の2を読み、『自由で責任あるプレス』の意義を考察する。(2時間)
	授業内容	『自由で責任あるプレス』の意義を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)

4	事前学習	テキストの第1章の3を読み、社会的責任論の意義を考察する。(2時間)
	授業内容	社会的責任論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
5	事前学習	テキストの第2章の1を読み、メリルの社会的責任論批判について考察する。(2時間)
	授業内容	メリルの社会的責任論批判に関して論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
6	事前学習	テキストの第2章の2を読み、メリルのジャーナリズム倫理学に関して考察する。(2時間)
	授業内容	メリルのジャーナリズム倫理学を解説する。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
7	事前学習	テキストの第2章の3を読み、実存主義ジャーナリズムについて考察する。(2時間)
	授業内容	実存主義ジャーナリズムを論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
8	事前学習	テキストの第2章の4を読み、カール・ノルデンシュテレンクとの論争について考察する。(2時間)
	授業内容	カール・ノルデンシュテレンクとの論争について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
9	事前学習	テキストの第3章の1を読み、Committed Journalismについて考察する。(2時間)
	授業内容	Committed Journalismの内容を概観する。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
10	事前学習	テキストの第3章の2を読み、ステewardシップについて考察する。(2時間)
	授業内容	ステewardシップについて論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
11	事前学習	テキストの第3章の3を読み、ASNE原則声明について考察する。(2時間)
	授業内容	ASNE原則声明について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
12	事前学習	テキストの第3章の4を読み、ジョン・ロールズの『正義論』について考察する。(2時間)
	授業内容	ロールズの『正義論』について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
13	事前学習	テキストの第3章の5を読み、ジェローム・A・バロンの「メディア・アクセス権論」について考察する。(2時間)
	授業内容	バロンの「メディア・アクセス権論」について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
14	事前学習	テキストの第3章の6を読み、アラスデア・マッキンタイアの思想について考察する。(2時間)
	授業内容	マッキンタイアの思想について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
15	事前学習	前期の講義ノートを見直し、前期の講義内容を再検討する。(2時間)
	授業内容	前期の講義内容を整理し、重要な点は何かを検討し合う。
	事後学習	前期のすべての講義ノートを確認し、これまで学んできたことを整理する。(2時間)

16	事前学習	前期に学んだことをふまえてテキストの第4章の1を読み、クリフォード・G・クリスチャンズの問題意識について考察する。(2時間)
	授業内容	若干の前期の復習の後、クリスチャンズの問題意識を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
17	事前学習	テキストの第4章の2を読み、クリスチャンズの啓蒙主義批判について考察する。(2時間)
	授業内容	クリスチャンズの啓蒙主義批判を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
18	事前学習	テキストの第4章の3を読み、クリスチャンズの自由主義批判について考察する。(2時間)
	授業内容	クリスチャンズの自由主義批判を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
19	事前学習	テキストの第4章の4を読み、クリスチャンズの功利主義批判について考察する。(2時間)
	授業内容	クリスチャンズの功利主義批判を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
20	事前学習	テキストの第4章の5を読み、クリスチャンズの道具主義批判について考察する。(2時間)
	授業内容	クリスチャンズの道具主義批判を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
21	事前学習	テキストの第4章の6を読み、クリスチャンズの相対主義批判について考察する。(2時間)
	授業内容	クリスチャンズの相対主義批判を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
22	事前学習	テキストの第4章の7を読み、クリスチャンズのジャーナリズム倫理学について考察する。(2時間)
	授業内容	クリスチャンズのジャーナリズム倫理学を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
23	事前学習	テキストの第4章の8を読み、クリスチャンズのトランスフォーマティブ・ジャーナリズムについて考察する。(2時間)
	授業内容	クリスチャンズのトランスフォーマティブ・ジャーナリズムを論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
24	事前学習	テキストの終章の1を読み、「真実を述べること」と「信頼をえること」について考察する。(2時間)
	授業内容	ジャーナリズムにおける「真実を述べること」と「信頼をえること」を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
25	事前学習	テキストの終章の2を読み、ジャーナリズムの定義について考察する。(2時間)
	授業内容	ジャーナリズムの定義について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
26	事前学習	テキストの終章の3を読み、ナショナリスティック・アプローチについて考察する。(2時間)
	授業内容	ナショナリスティック・アプローチについて論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
27	事前学習	テキストの終章の4を読み、リバタリアン・アプローチについて考察する。(2時間)
	授業内容	リバタリアン・アプローチについて論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)

28	事前学習	テキストの終章の5を読み、リベラル・ジャーナリズムについて考察する。(2時間)
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムについて論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
29	事前学習	テキストの終章の6を読み、コミュニタリアン・ジャーナリズムについて考察する。(2時間)
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムについて論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
30	事前学習	後期の講義ノートを見直し、後期の講義内容を再検討する。(2時間)
	授業内容	総括講義
	事後学習	初回からの講義ノートを見直し、ジャーナリズム倫理学とは何かまとめておく。(2時間)